

東日本大震災
避難者アンケート調査
集計結果

令和4年9月

山形県広域支援対策本部避難者支援班

I 調査の概要

- | | |
|---------|-------|
| 1 調査の目的 | - 1 - |
| 2 調査項目 | - 1 - |
| 3 調査設計 | - 1 - |

II 調査結果

【回答者について】

回答者の性別、年齢、避難先の市町村 - 2 -

1 世帯の現状について

- | | |
|---------------------------------|-------|
| (1) 避難元の県・市町村、避難の理由 | - 3 - |
| (2) 避難世帯の家族状況、避難の状況、避難している住宅の種類 | - 4 - |

2 山形での生活について

- | | |
|----------------------------------|--------|
| (1) 「困っていること、不安なこと」について | - 8 - |
| (2) 生活資金について | - 9 - |
| (3) 避難者支援に関する情報の入手について | - 10 - |
| (4) 避難者支援に関する情報で希望する内容について | - 11 - |
| (5) 新型コロナウイルス感染症による影響について | - 12 - |
| (6) 新型コロナウイルス感染症による影響について相談したいこと | - 12 - |

3 今後の生活について

- | | |
|---------------------|--------|
| (1) 今後の予定について | - 13 - |
| (2) 避難期間の見通しと帰還について | - 14 - |
| (3) 山形県内への定住について | - 16 - |

4 心身の健康について

- | | |
|----------------------|--------|
| (1) 心身の不調について | - 20 - |
| (2) 心身の不調に対しての対応について | - 21 - |
| (3) 健康の相談相手について | - 22 - |
| (4) 心身の健康に関する要望について | - 23 - |
| (5) 福祉サービスの利用状況及について | - 23 - |

5 教育や子育てについて

- | | |
|------------------------------|--------|
| (1) 教育や子育てで困っていること、不安なことについて | - 24 - |
| (2) 子育ての相談相手について | - 25 - |
| (3) お子さんの預かり先について | - 25 - |
| (4) 教育や子育てに関する要望について | - 26 - |

6 高齢者の生活について

- | | |
|------------------------------|--------|
| (1) 高齢者の生活で困っていること、不安なことについて | - 27 - |
| (2) 高齢者の生活や介護の相談相手について | - 28 - |
| (3) 高齢者の生活に関する要望について | - 29 - |
| (4) 高齢者の地域活動等への参加意欲について | - 30 - |

7 就業・就職について

- | | |
|--------------------------|--------|
| (1) 主に生計を支えている方の就業状況について | - 31 - |
| (2) 転職の希望について | - 31 - |

8 相談支援機関と相談交流について

- | | |
|--------------------|--------|
| (1) 相談支援機関の利用状況 | - 32 - |
| (2) 相談支援機関への相談について | - 33 - |
| (3) 戸別訪問について | - 34 - |
| (4) 相談交流の参加状況 | - 35 - |

9 県内で行っている避難者支援事業について

- | | |
|--------------------------|--------|
| (1) 山形県内での支援に対する評価 | - 36 - |
| (2) 避難者支援事業の利用状況及び評価について | - 37 - |
| (3) 県内での避難者への支援として期待するもの | - 38 - |
| (4) 今後実施してほしい避難者支援事業 | - 39 - |

10 自由記入欄

- | | |
|-------------------------|------|
| (1) 避難元に対し県から伝えてもらいたいこと | —40— |
| (2) 政府に対し県から伝えてもらいたいこと | —40— |
| (3) その他、日頃から感じていることなど | —40— |

III 参考資料

アンケート調査票

I 調査の概要

1 調査の目的

東日本大震災から 11 年が経過しましたが、現在も約 1,300 人の方々が本県での避難生活を続けています。

避難生活が長期化する中で、避難者の方々がどのようなニーズをもっているか、どのような支援を望んでいるか等を調査し、今後の避難者支援策に資することを目的として、アンケート調査を実施しました。

2 調査項目

- (1) 世帯の現状について
- (2) 山形での生活について
- (3) 今後の生活について
- (4) 心身の健康について
- (5) 教育や子育てについて
- (6) 高齢者の生活について
- (7) 就業・就職について
- (8) 相談支援機関と相談交流について
- (9) 県内で行っている避難者支援事業について

3 調査設計

- (1) 調査地域 : 山形県全域
- (2) 調査対象 : 東日本大震災により山形県内に避難されている 461 世帯
- (3) 調査方法 : 郵送によるアンケート調査
(同封した返信用封筒又は「やまがた e 申請」により回収)
- (4) 調査期間 : 令和 4 年 6 月下旬～7 月中旬
- (5) 回答数 : 116 世帯 (回収率 : 25.2%)
※参考 令和 3 年度は 511 世帯に送付し、回収は 134 世帯 (回収率 26.2%)

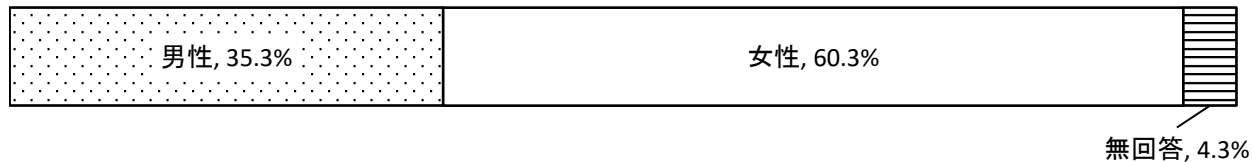
※ 注意点

- (1) 小数点第 2 位を四捨五入しているため、百分率の合計が 100%にならない場合があります。
- (2) 1 つの質問で回答が複数ある場合、回答率が 100%を超える場合があります。
- (3) データ数 (n) の記載がない場合は、アンケートの回答数をデータ数としています。
(R4 は n=116、R3 は n=134、R2 は n=153)

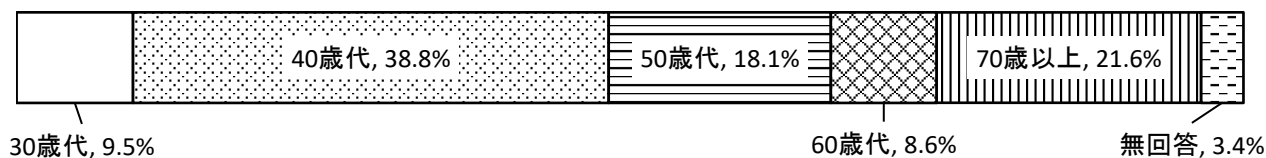
Ⅱ 調査結果

【回答者について】

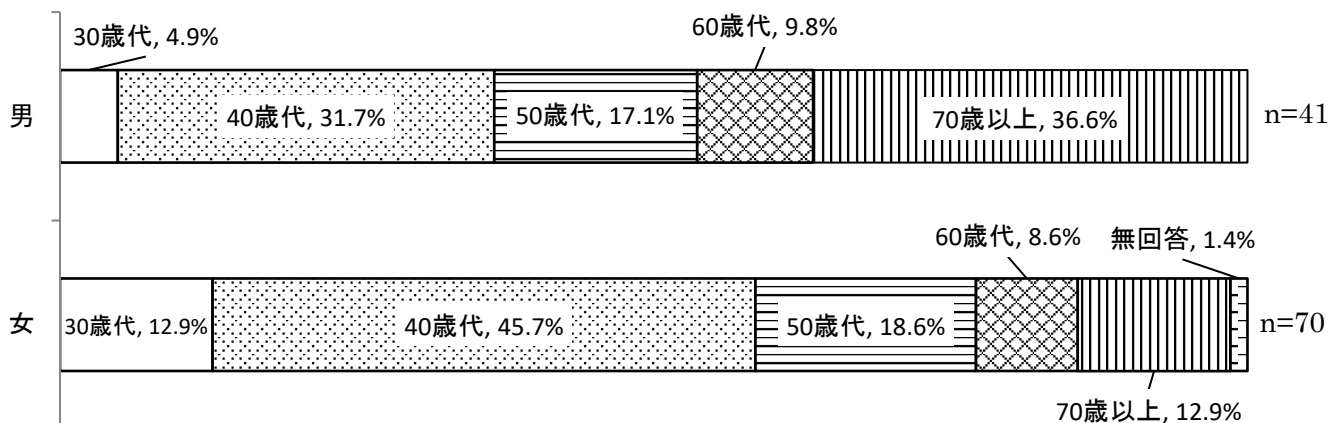
性別



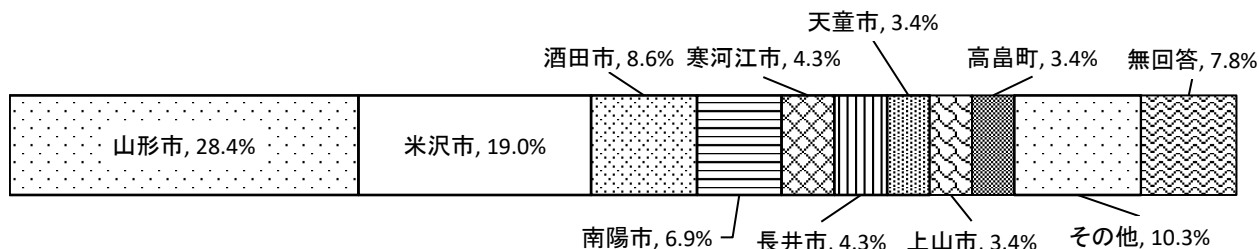
年齢



男女別年齢



避難先の市町村



回答者の性別は、男性が 35.3%、女性が 60.3%、無回答が 4.3%となっています。

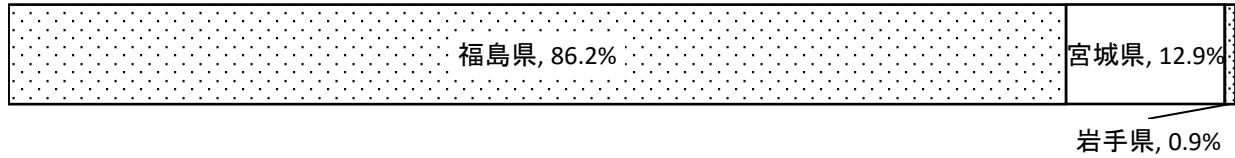
年齢別では多い順から、40 歳代 38.8%、70 歳以上 21.6%、50 歳代 18.1%で、男女別に見ると男性は 70 歳以上が 36.6%、女性は 40 歳代が 45.7%で最も多くなっています。

避難先の市町村は、山形市が 28.4%と最も多く、次いで米沢市、酒田市、南陽市の順となっています。

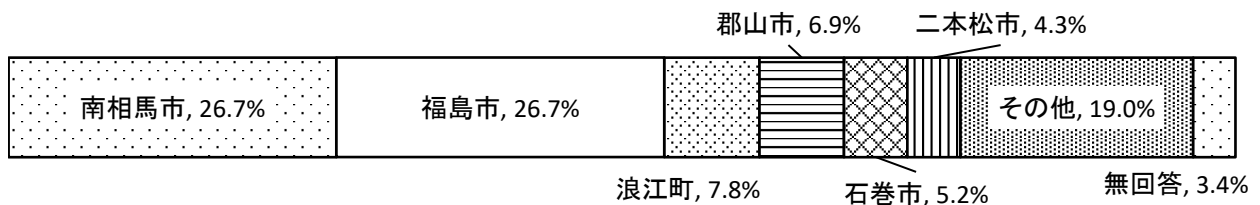
1 世帯の現状について

(1) 避難元の県・市町村、避難の理由

避難元の県

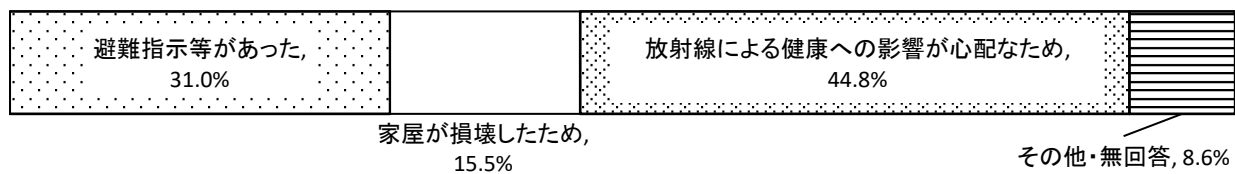


避難元の市町村



避難元については、福島県が 86.2%、宮城県が 12.9%でした。市町村別では、南相馬市と福島市がともに最多、次いで浪江町、郡山市、石巻市、二本松市の順となっています。

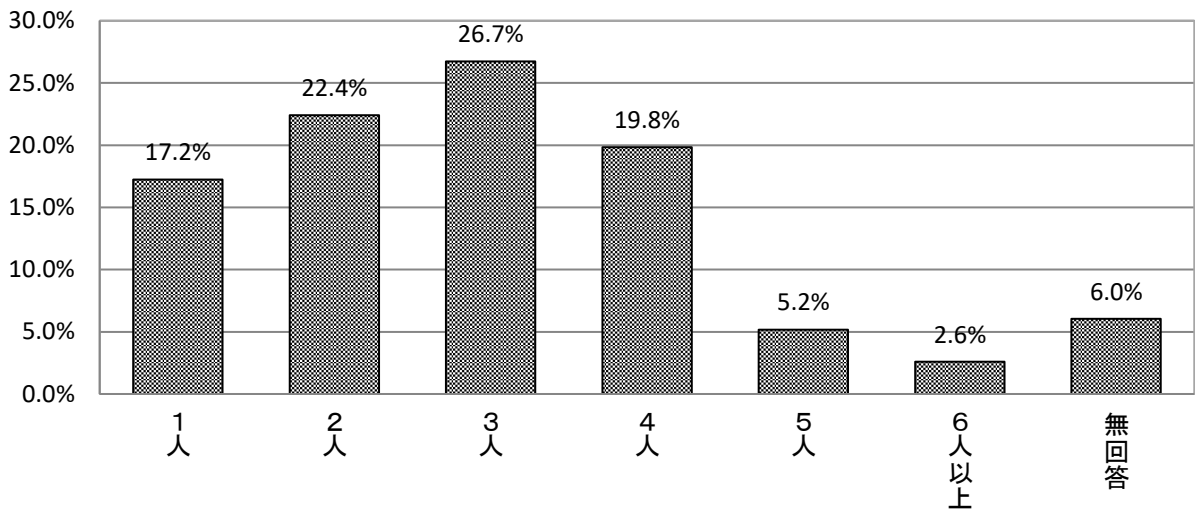
避難の理由



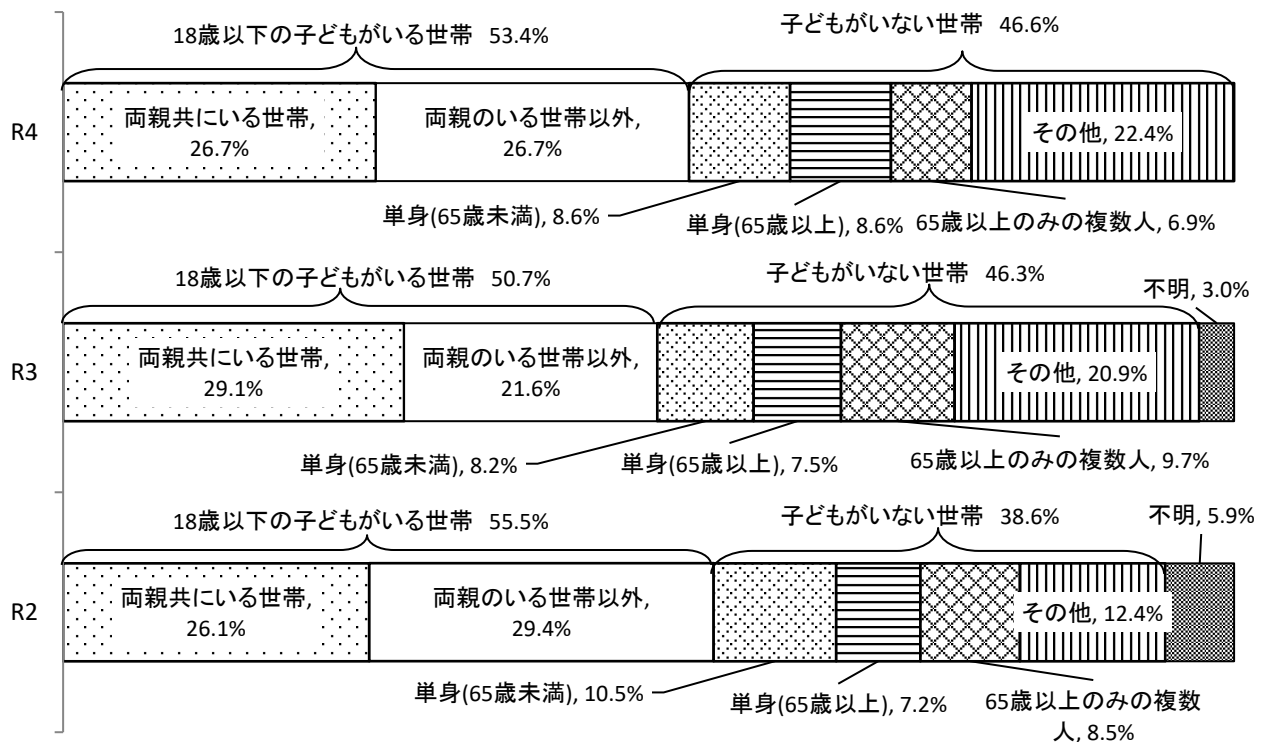
避難の理由は、「放射線による健康への影響が心配なため」が 44.8%と最も多く、次いで「避難指示等があった」31.0%、「家屋が損壊したため」15.5%となっています。

(2) 避難世帯の家族状況、避難の状況、避難している住宅の種類

家族の人数

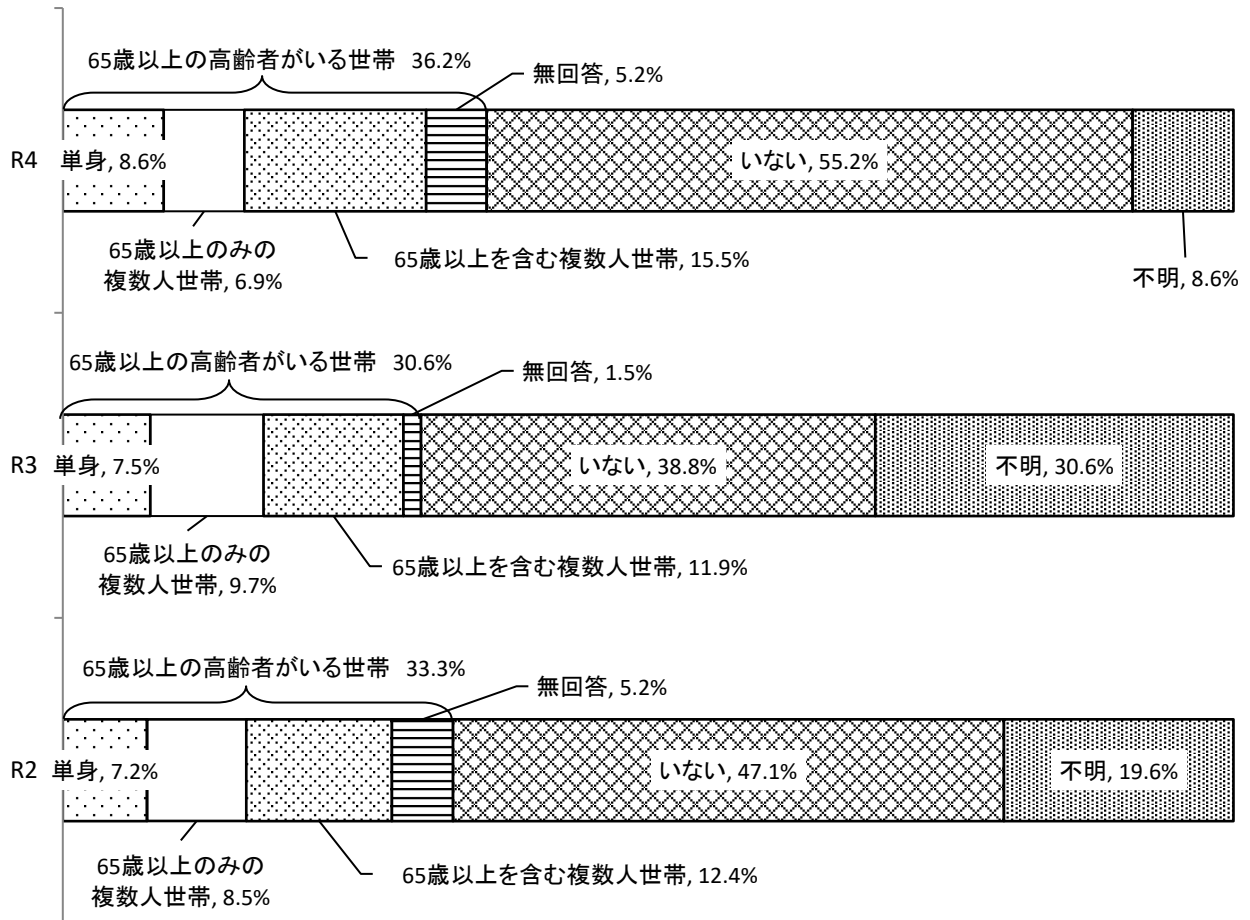


家族の構成(18歳以下の子どもの有無)



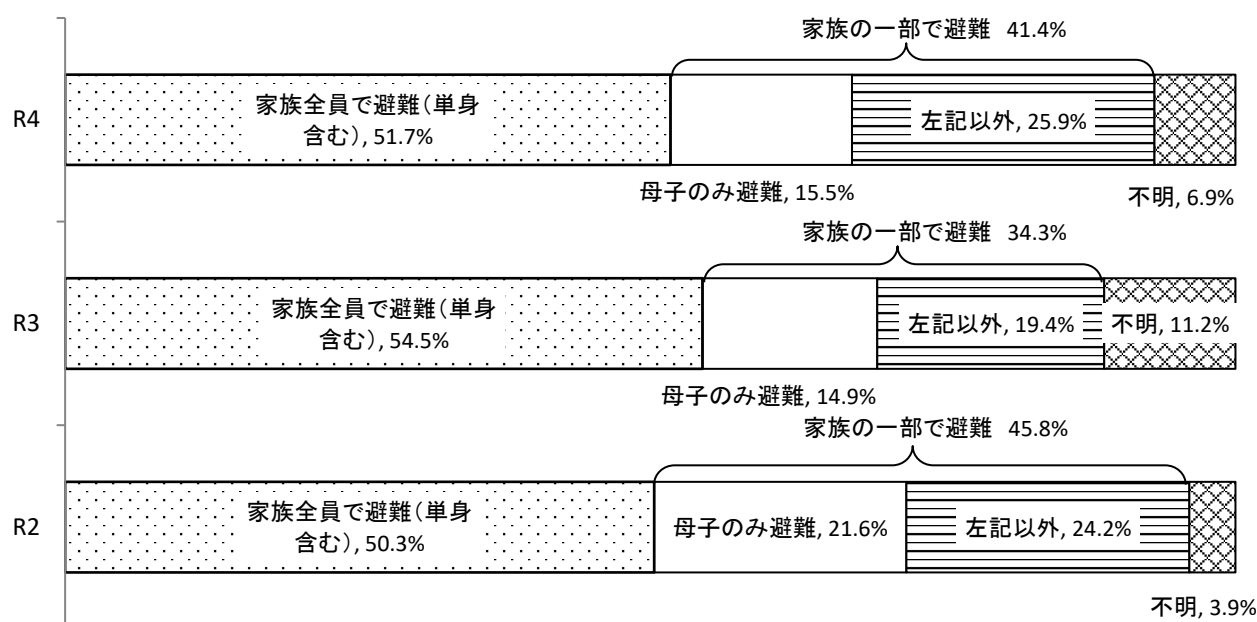
家族の構成は、3人家族が最も多く、2～4人家族が全体の約7割を占めています。18歳以下の子どもがいる世帯は53.4%、子どもがいない世帯は46.6%となっています。

家族の構成(65歳以上の高齢者の有無)

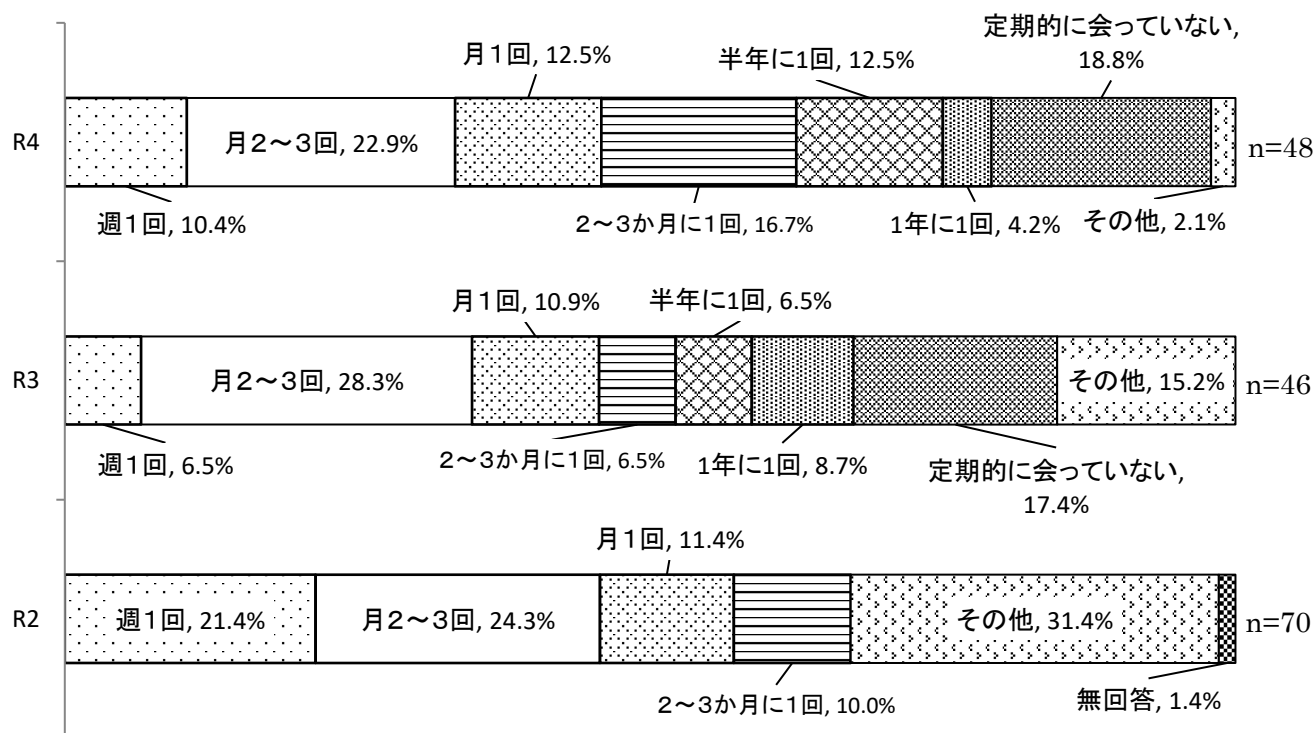


65歳以上の高齢者のいる世帯は、36.2%となっており、うち単身者は8.6%、65歳以上の高齢者のみの複数人世帯は6.9%、65歳以上を含む複数人世帯は15.5%となっています。

避難の状況



避難元の家族と会う頻度 (設問の対象者は家族の一部で避難された方)

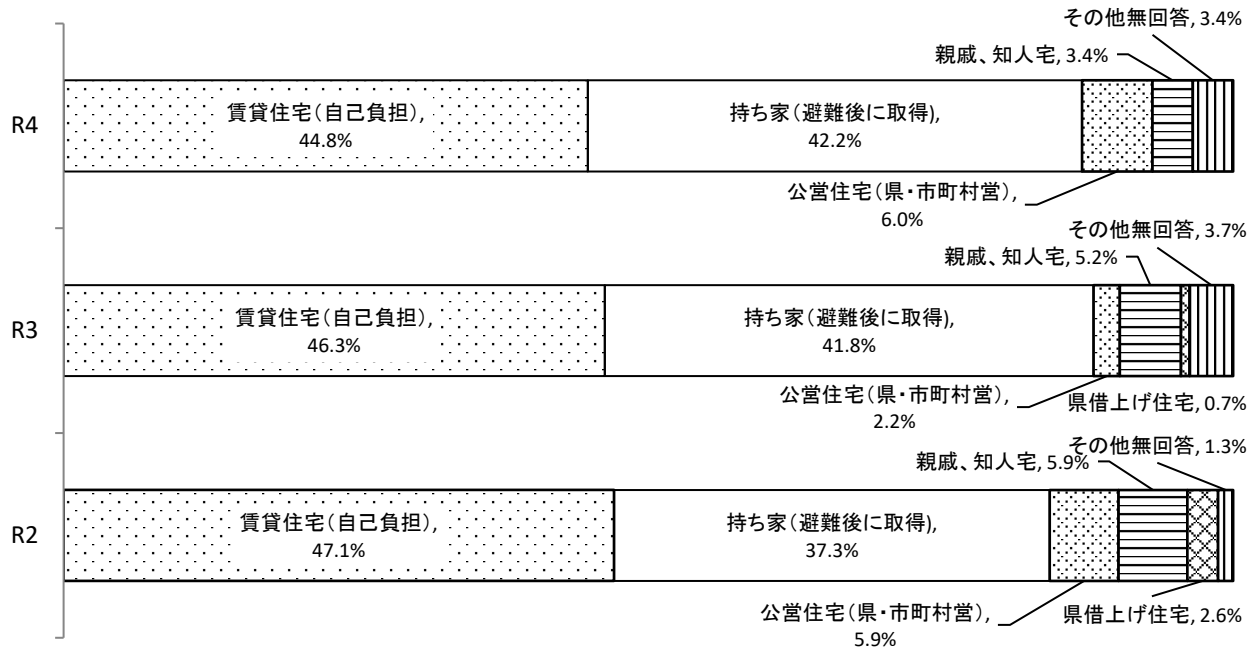


避難の状況は、家族全員で避難している世帯が 51.7%、家族の一部で避難している世帯が 41.4% となっており、うち家族と離れて母子のみで避難している世帯は全体の 15.5% となっています。

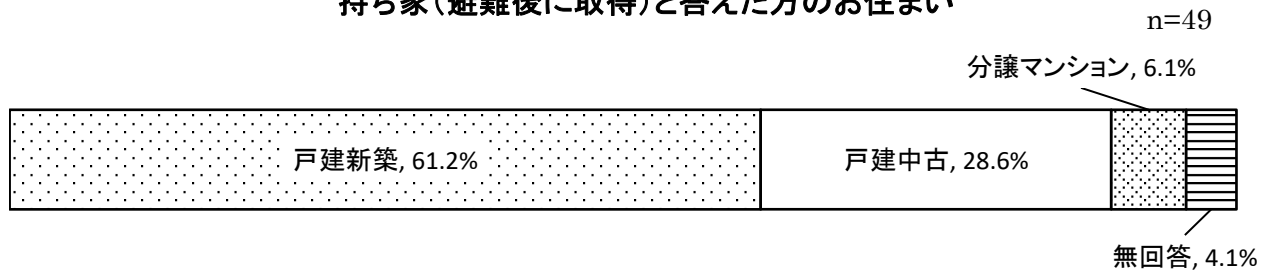
家族の一部で避難された方で、避難元の家族と会う頻度が月 1 回よりも少ない世帯は全体の約半数を占めています。

※「半年に 1 回」、「1 年に 1 回」と「定期的に会っていない」は令和 3 年度の新規項目

避難している住宅の種類



持ち家(避難後に取得)と答えた方のお住まい



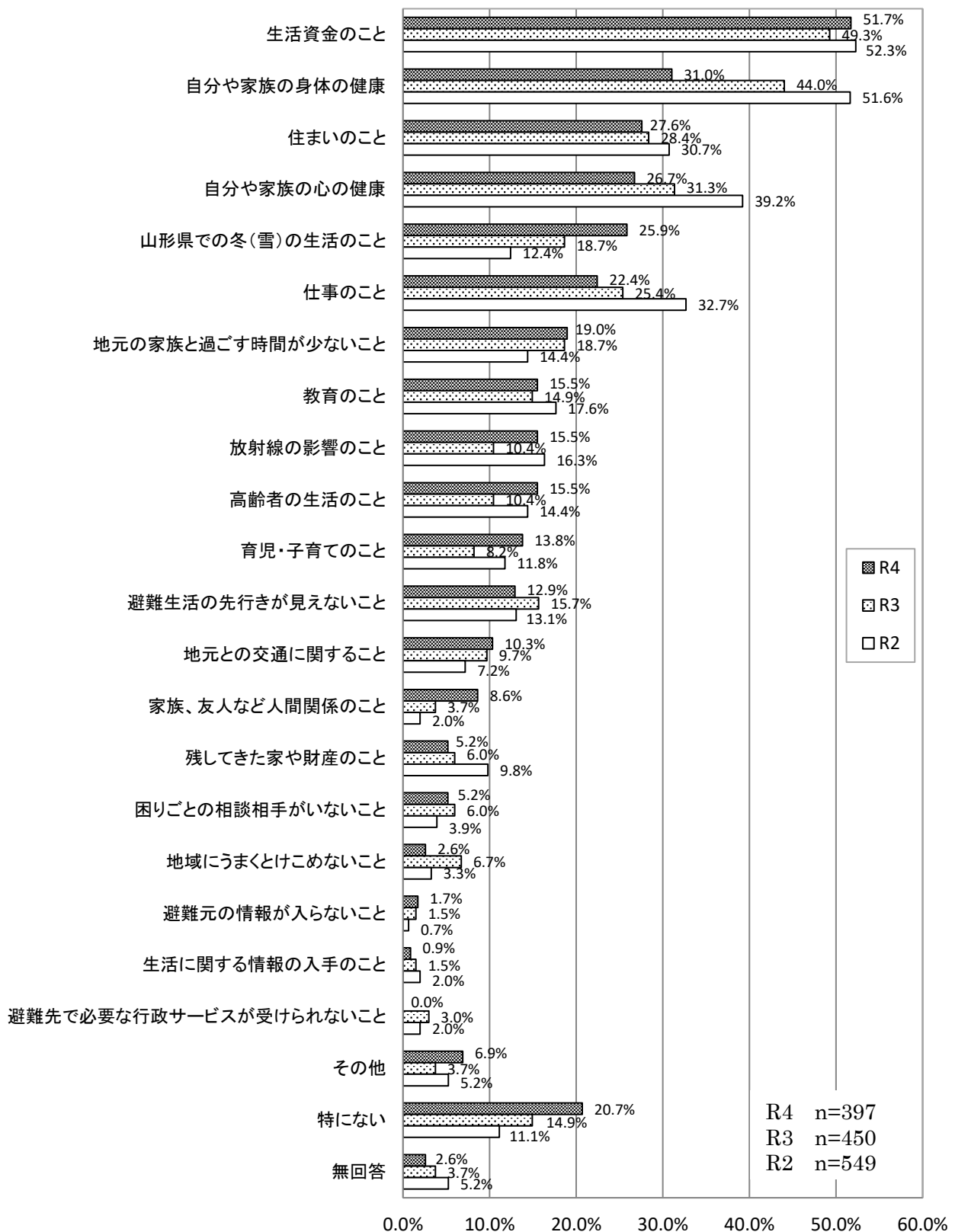
避難している住宅の種類は、多い順から「賃貸住宅(自己負担)」44.8%、「持ち家(避難後に取得)」42.2%、「公営住宅」で6.0%となっており、「持ち家(避難後に取得)」の割合は、年々増加しています。

※平成29年3月で、避難指示区域以外の避難者への借上げ住宅の供与が終了

2 山形での生活について

(1)「困っていること、不安なこと」について

今の生活で困っていること、不安なこと(5つまで)

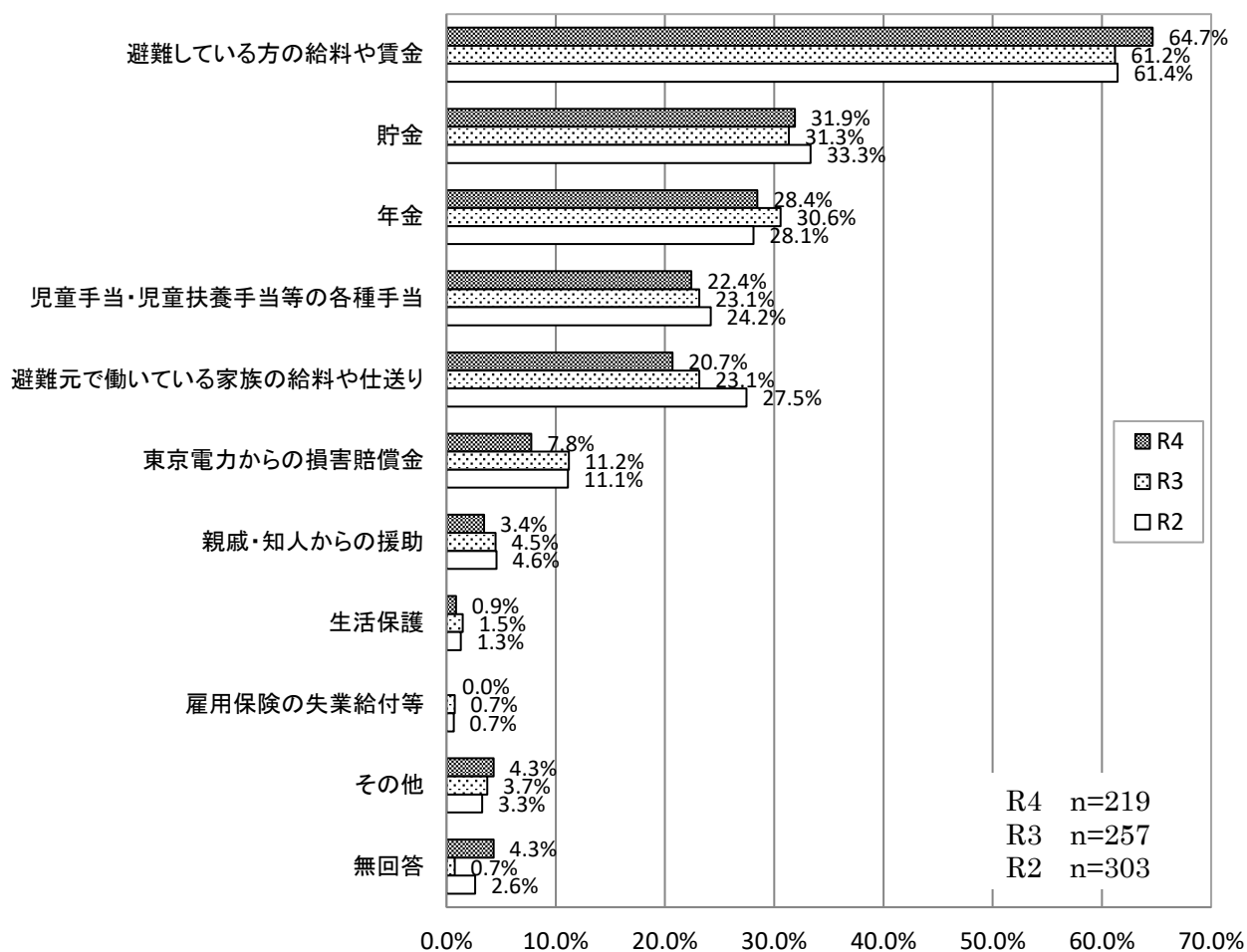


今の生活で困っていること・不安なことは、「生活資金のこと」が51.7%と最も多く、次いで「自分や家族の身体の健康」31.0%、「住まいのこと」27.6%の順となっています。

一方、「特にない」は20.7%となっています。

(2) 生活資金について

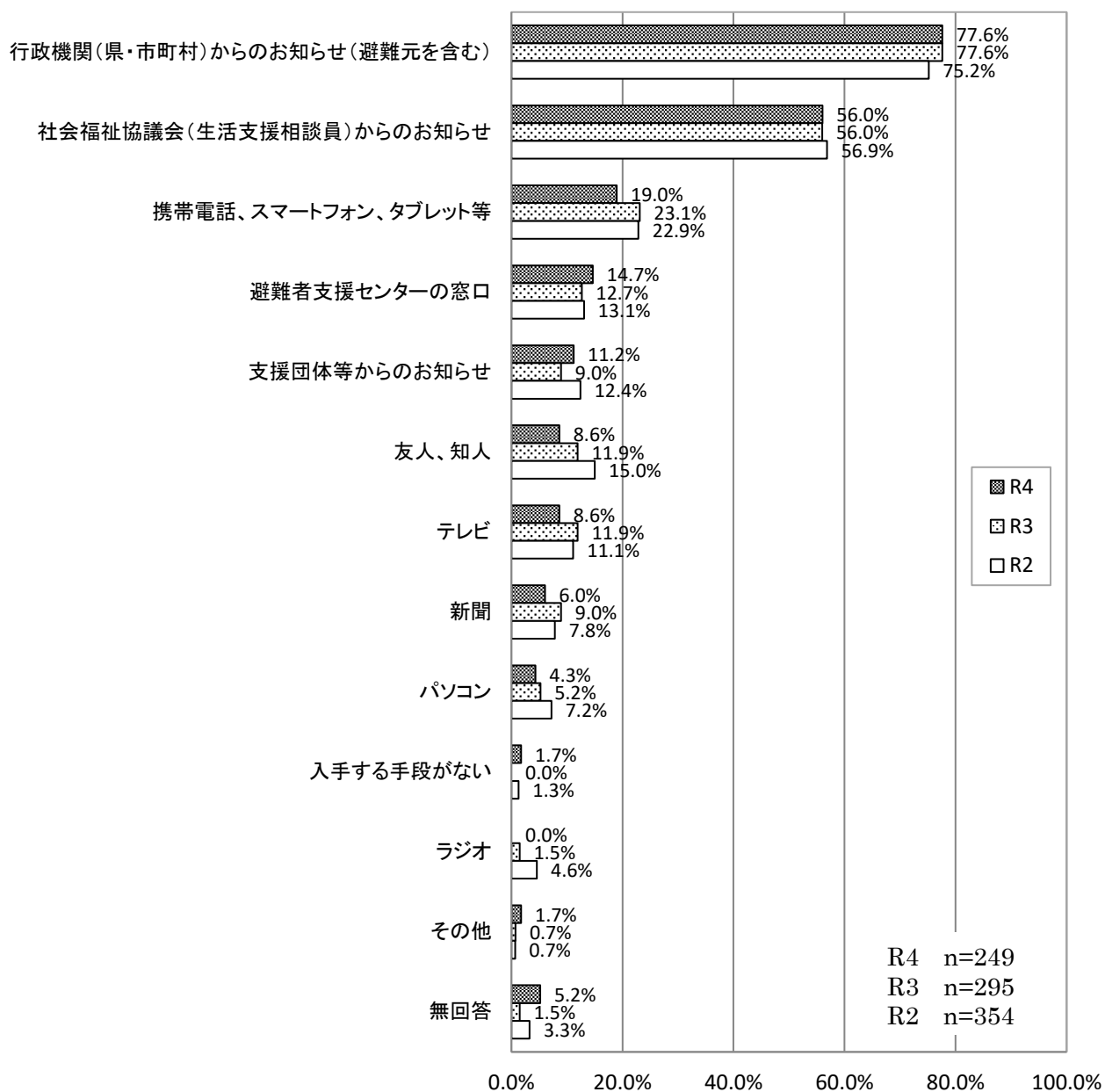
世帯の生活資金(3つまで)



世帯における生活資金をどこから得ているかについては、「避難している方の給料や賃金」が64.7%と最も高く、続いて「貯金」、「年金」、「児童手当・児童扶養手当等の各種手当」の順となっています。

(3) 避難者支援に関する情報の入手について

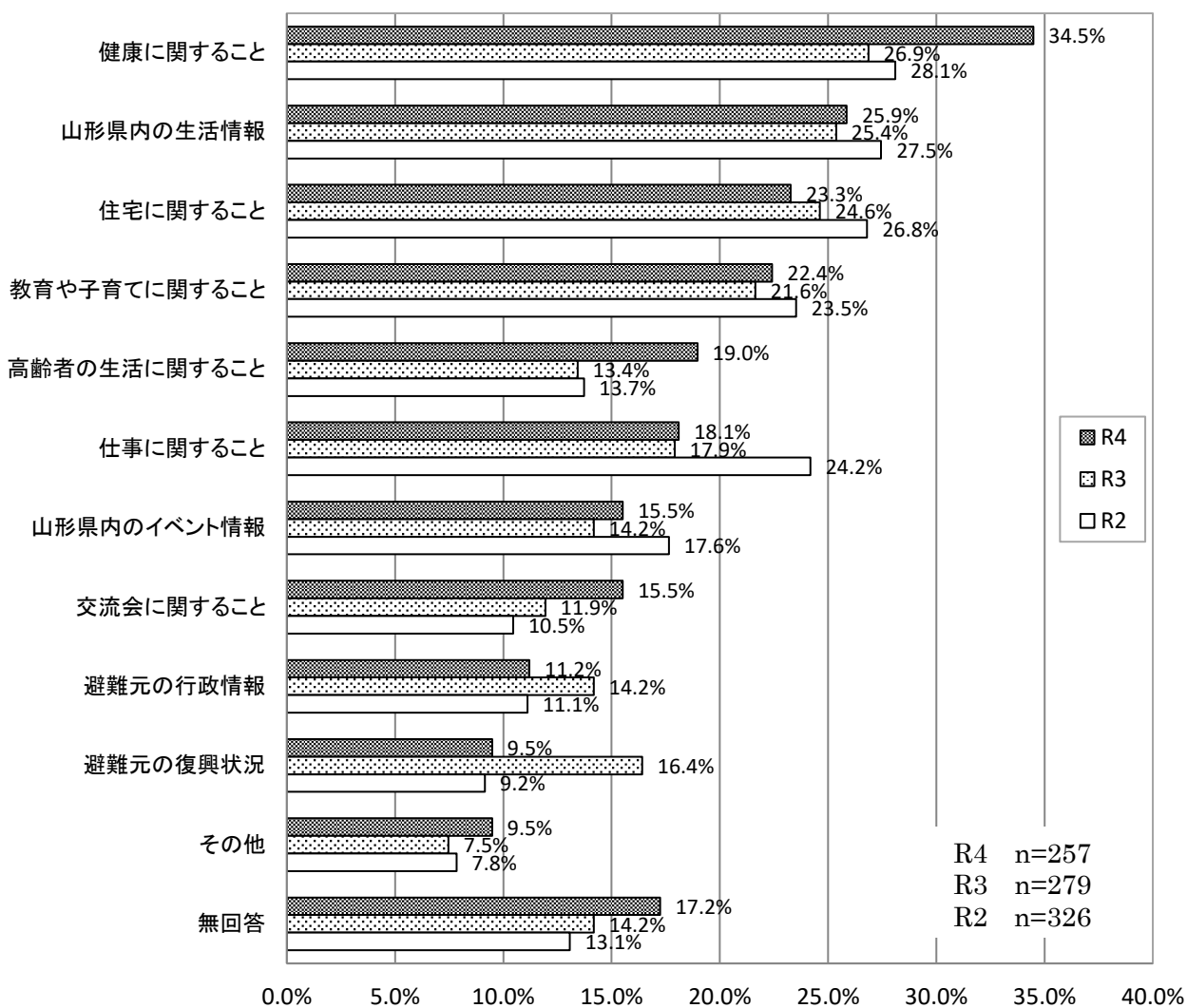
避難者支援に関する情報の入手手段(複数回答)



避難者支援に関する情報の入手手段は、「行政機関(県・市町村)からのお知らせ」が77.6%と最も多く、次いで「社会福祉協議会(生活支援相談員)からのお知らせ」、「携帯電話、スマートフォン、タブレット等」、「避難者支援センターの窓口」の順となっています。

(4) 避難者支援に関する情報で希望する内容について

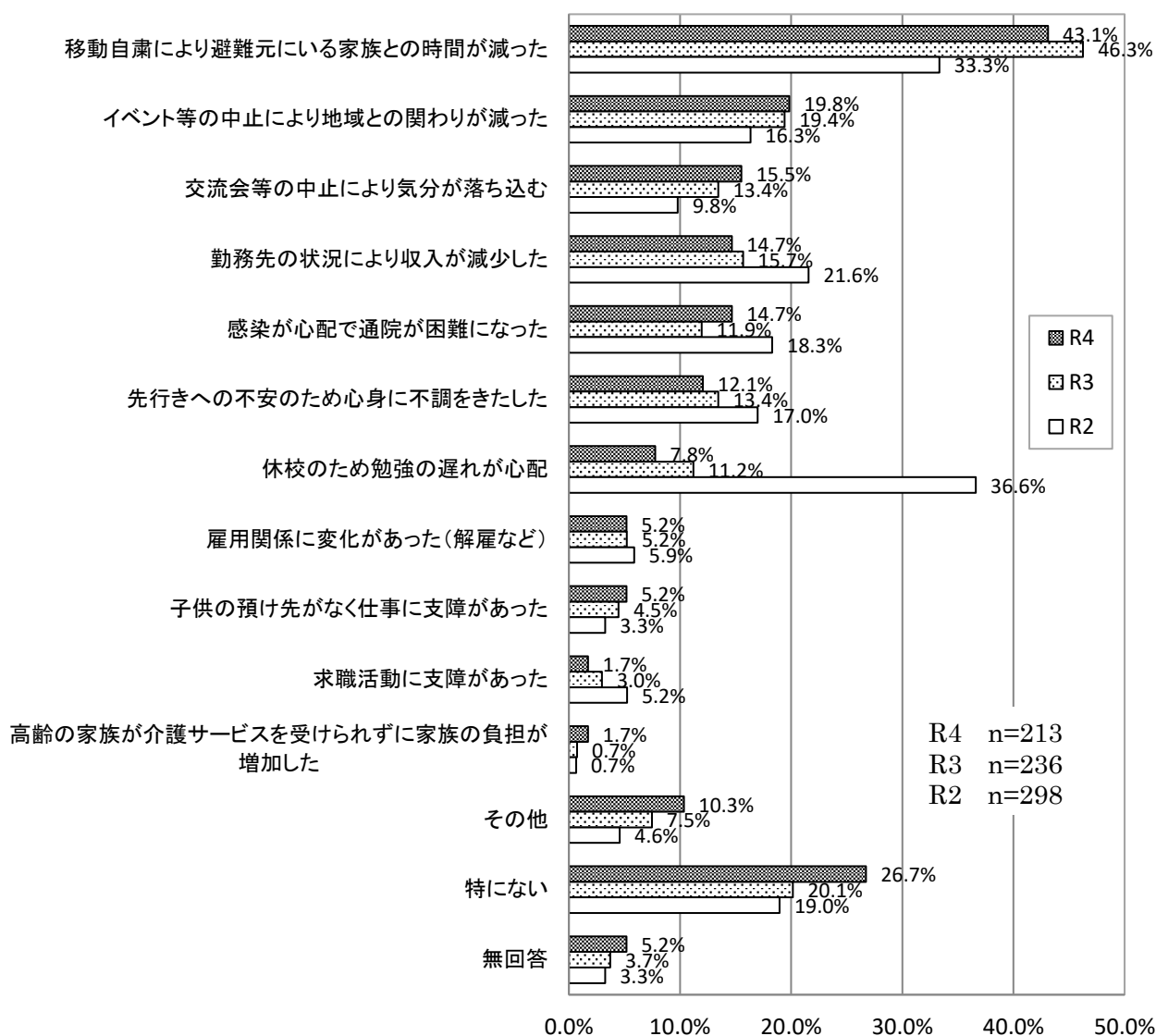
避難者支援に関する情報で希望する内容(複数回答)



避難者支援に関する情報で希望する内容は、「健康に関すること」が34.5%と最も高く、次いで「山形県内の生活情報」、「住宅に関すること」、「教育や子育てに関すること」の順となっています。

(5) 新型コロナウイルス感染症による影響について

新型コロナウイルス感染症による影響(3つまで)



新型コロナウイルス感染症の影響については、「移動自粛により避難元にいる家族との時間が減った」が43.1%と最も多く、次いで「イベント等の中止により地域との関わりが減った」、「交流会等の中止により気分が落ち込む」の順になっています。

一方、「特にない」は26.7%となっています。

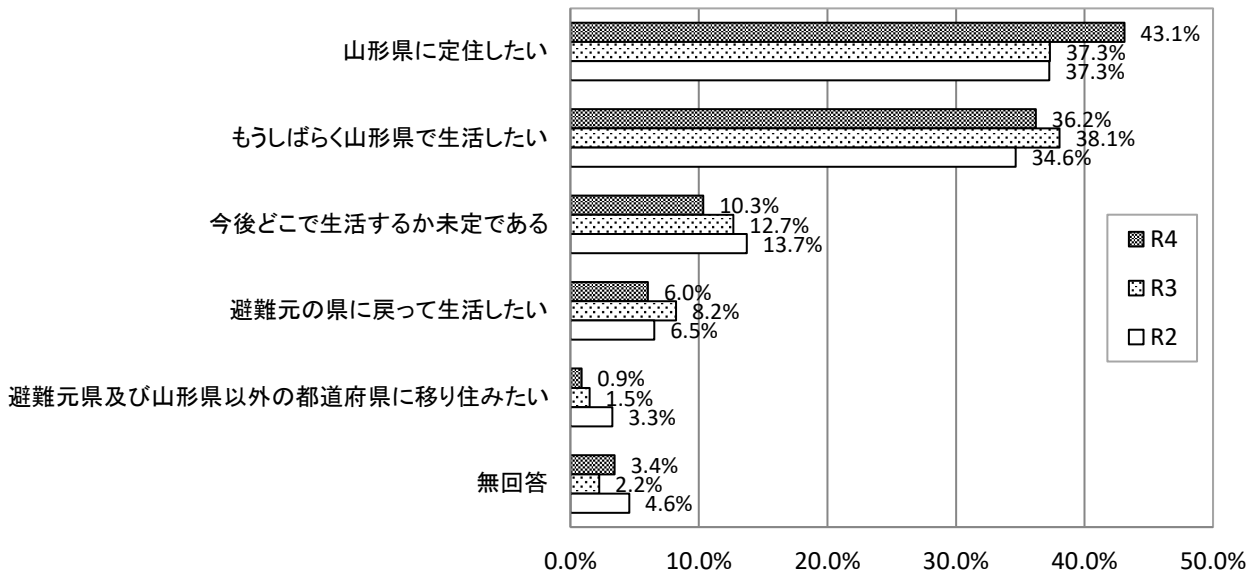
(6) 新型コロナウイルス感染症による影響について相談したいこと(自由記入)

- ・ 県外往来禁止など、会社がコロナ感染に対し、厳しく、自由にできない。
- ・ 県をまたいで移動している家族がいるというだけで、見てくれない病院があるのは差別を感じます。コロナのせいで、生活がしにくくなった感じはあります。
- ・ 休校で勉強に遅れが出て、学力が心配なので塾に通わせるようになったが、二重生活でも苦しいのにさらに支出が増え、さらに苦しくなった。
- ・ 保育園独自の基準が厳しすぎて仕事に支障が出る。

などの記載がありました。

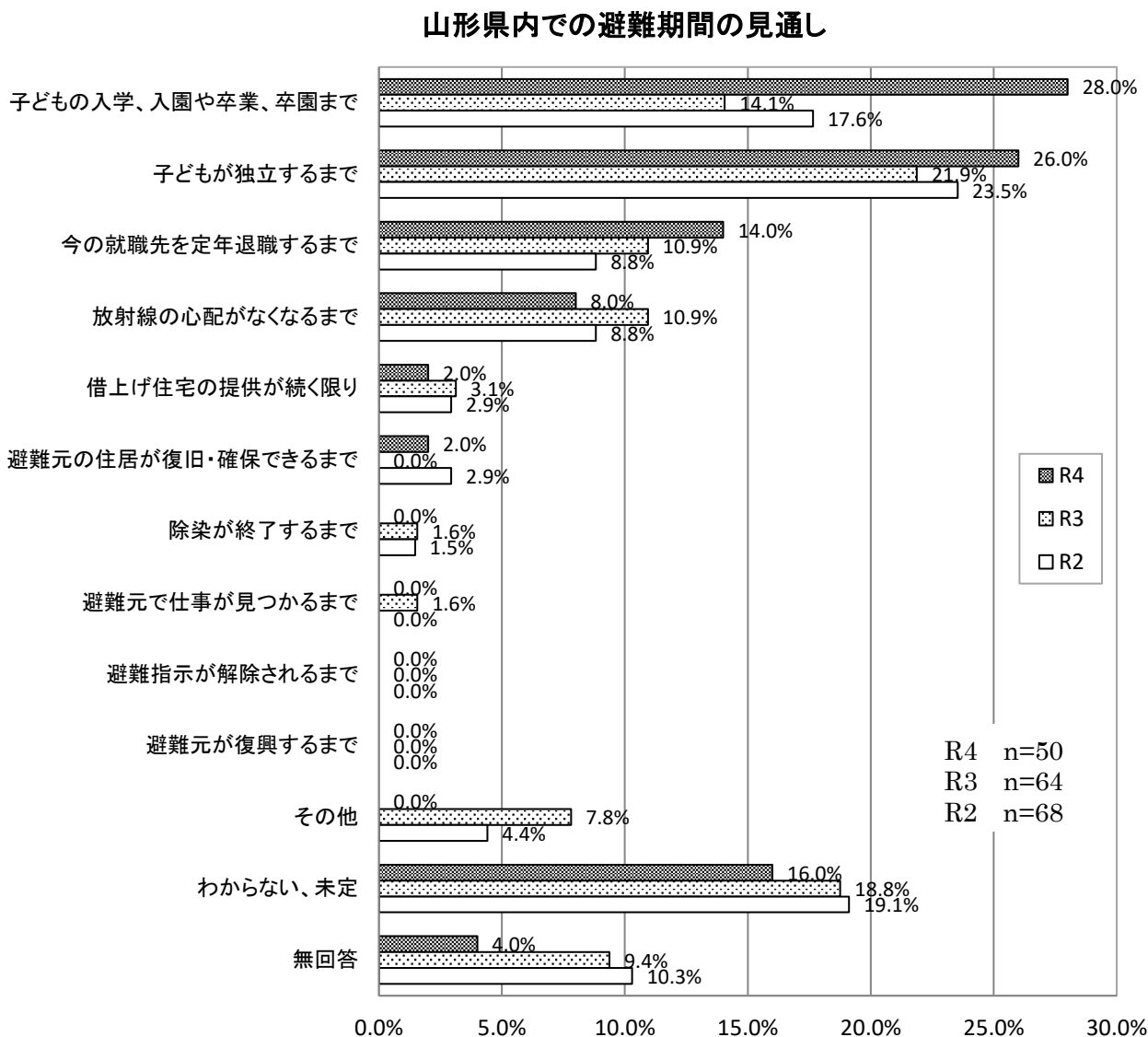
3 今後の生活について
 (1) 今後の予定について

今後の予定



今後の予定について、「山形県に定住したい」が43.1%、「もうしばらく山形県で生活したい」が36.2%となっており、当面、山形での生活を続けたいと考えている方が約8割となっています。

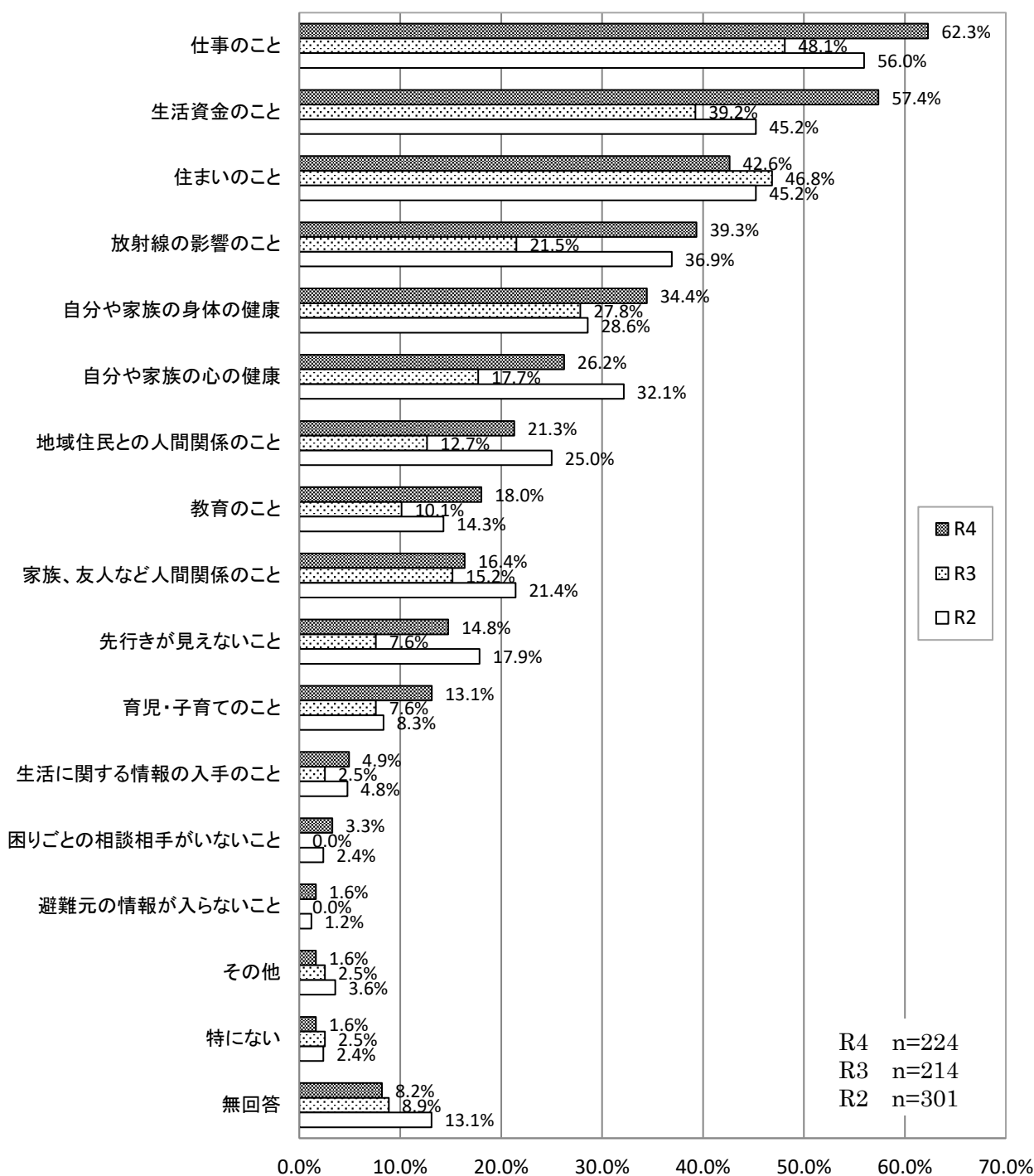
(2) 避難期間の見通しと帰還について



3 (1) で、「避難元の県に戻って生活したい」、「もうしばらく山形県で生活したい」、「避難元県及び山形県以外の都道府県に移り住みたい」と答えた方が、県内での避難生活をいつまでと考えているかについては、「子供の入学、入園や卒業、卒園まで」が28.0%と最も多く、次いで「子どもが独立するまで」が26.0%となっております。

一方、16.0%の方が「わからない、未定」となっています。

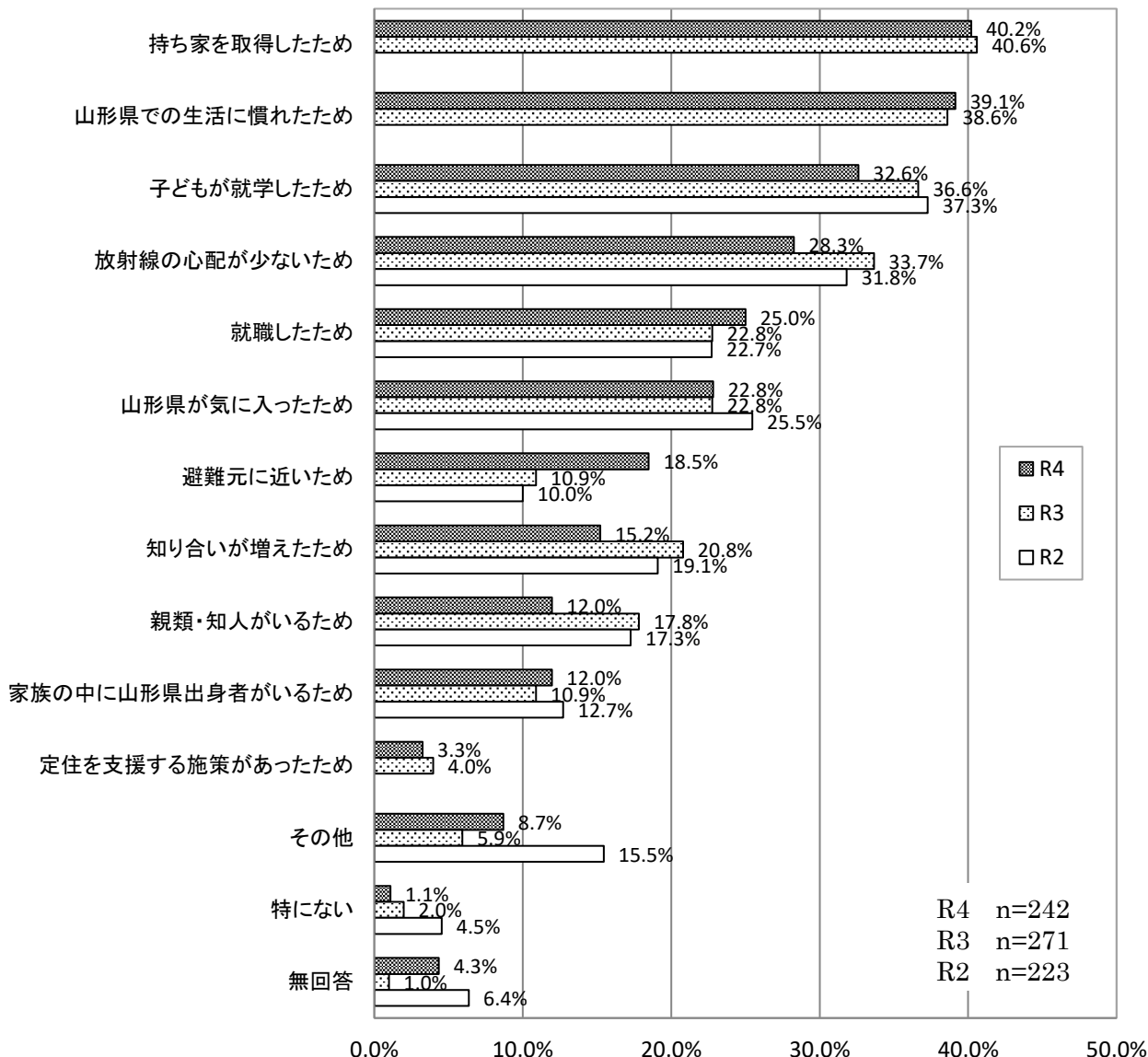
避難元の県へ帰還することとなった場合、心配なこと(複数回答)



3(1)で、「避難元の県に戻って生活したい」、「もうしばらく山形県で生活したい」、「今後どこで生活するか未定である」と答えた方の、避難元の県へ帰還することとなった場合の心配なことは、「仕事のこと」と答えた方が62.3%と最も多く、次いで「生活資金のこと」、「住まいのこと」の順となっています。

(3) 山形県内への定住について

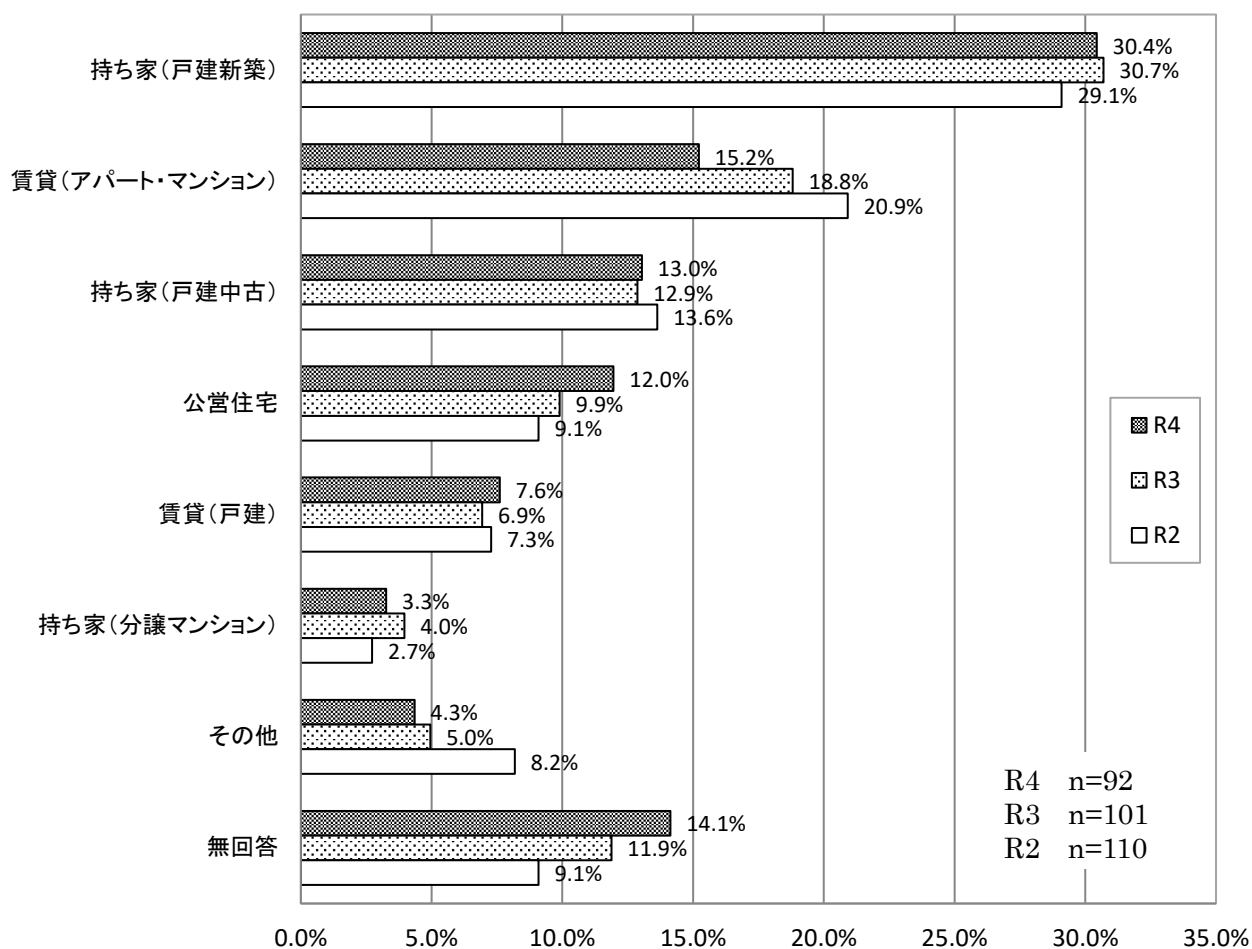
「もうしばらく山形県で生活したい」「山形県に定住したい」と答えた方の理由
(複数回答)



3(1)で、「もうしばらく山形県で生活したい」、「山形県に定住したい」と答えた方の理由は、「持ち家を取得したため」が40.2%と最も多く、次いで「山形県での生活に慣れたため」、「子どもが就学したため」の順となっています。

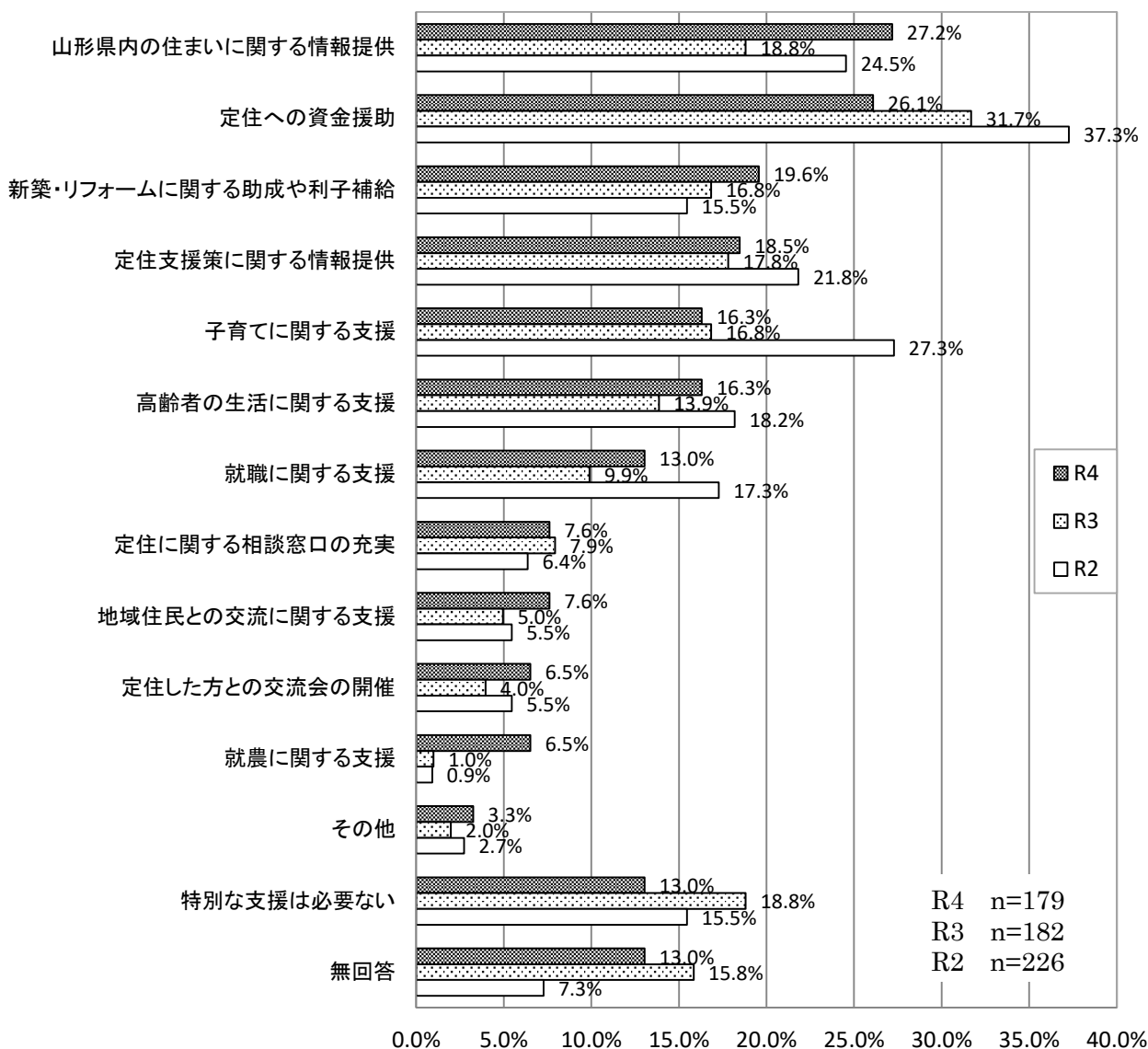
※「持ち家を取得したため」、「山形県での生活に慣れたため」と「定住を支援する施策があったため」は令和3年度の新規項目

「もうしばらく山形県で生活したい」「山形県に定住したい」と答えた方の希望する住居



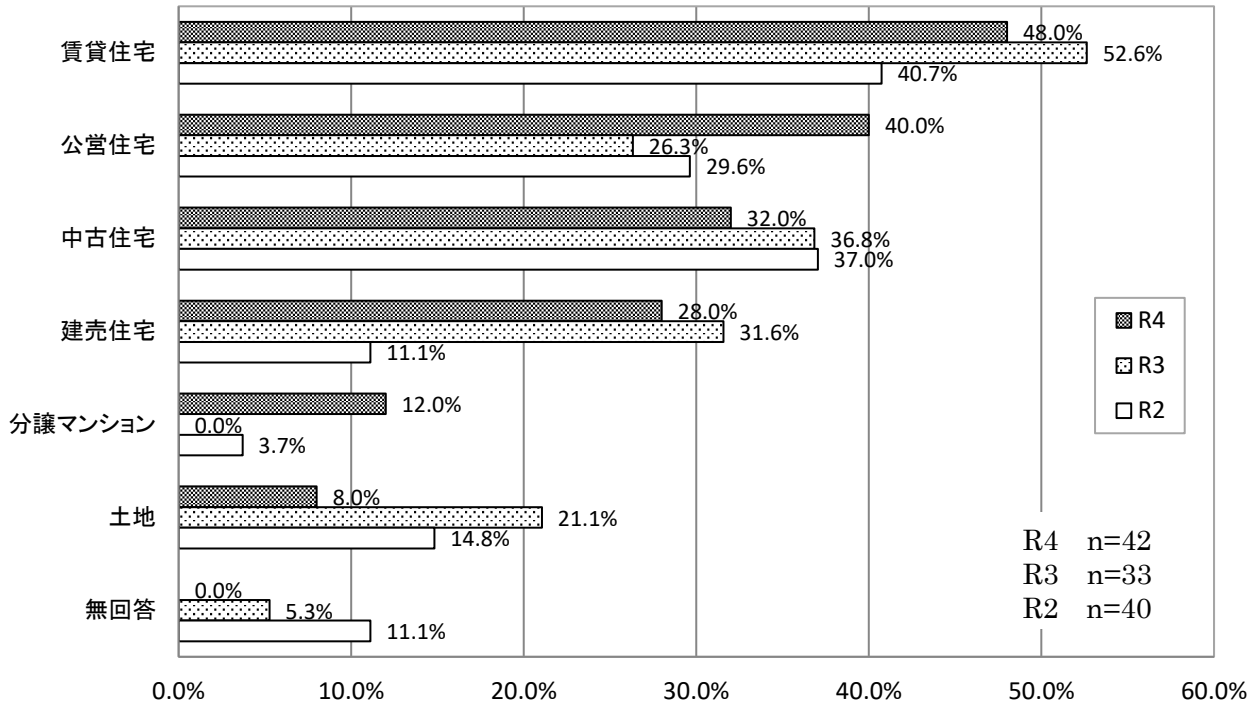
3 (1) で、「もうしばらく山形県で生活したい」、「山形県に定住したい」と答えた方が希望する住居の形態は、「持ち家(戸建新築)」が30.4%と最も多く、次いで「賃貸(アパート・マンション)」、「持ち家(戸建中古)」の順となっています。

「もうしばらく山形県で生活したい」「山形県に定住したい」と答えた方の
希望する支援(複数回答)



3(1)で、「もうしばらく山形県で生活したい」、「山形県に定住したい」と答えた方の希望する支援は、「山形県内の住まいに関する情報提供」が27.2%と最も多く、次いで「定住への資金援助」、「新築・リフォームに関する助成や利子補給」の順となっています。一方、「特別な支援は必要ない」は13.0%となっています。

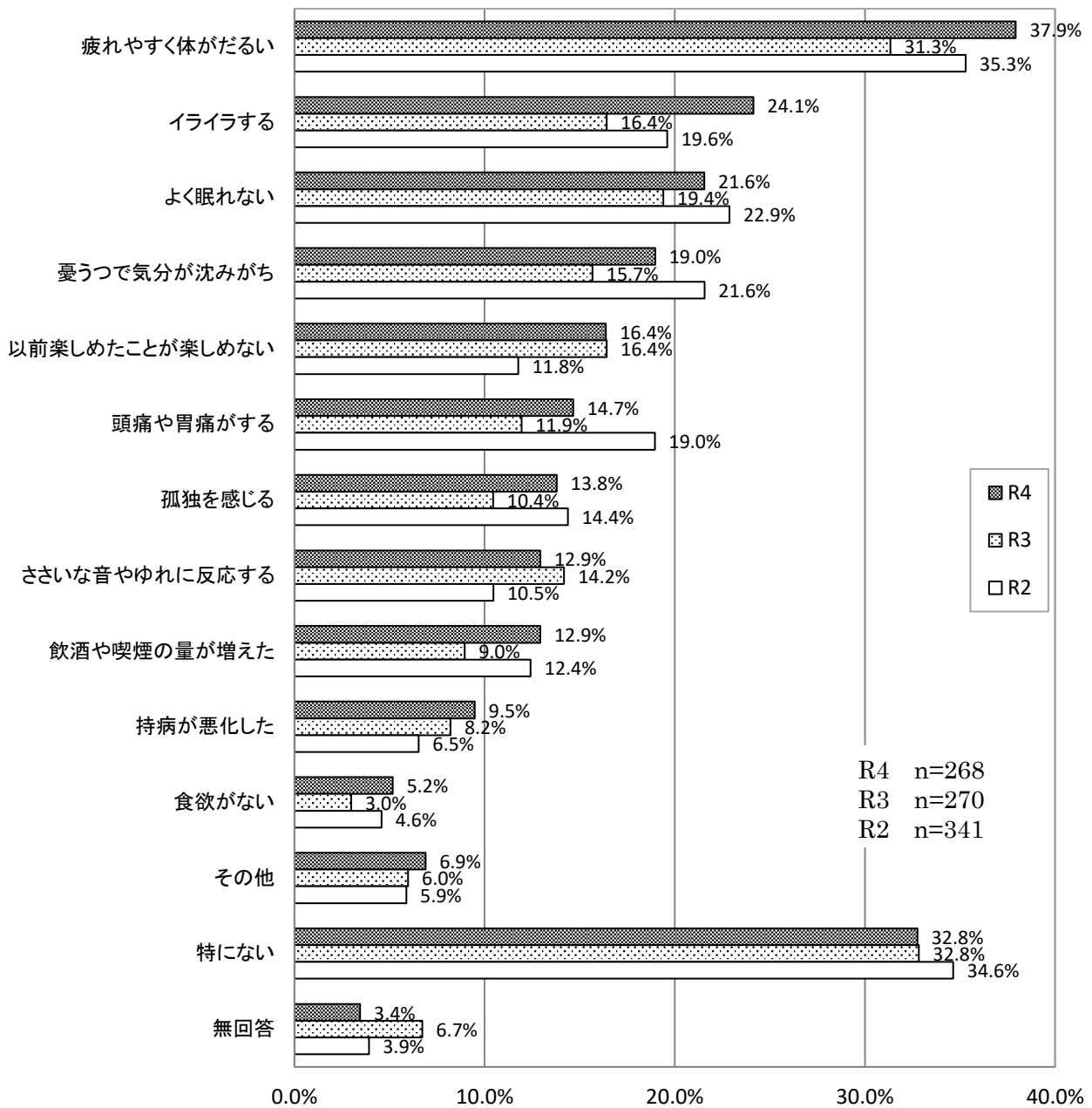
山形県内の住まいに関する必要な情報(複数回答)



希望する支援について「山形県内の住まいに関する情報提供」と答えた方の「必要な情報は何か」の問いに対する回答は、「賃貸住宅」が48.0%と最も多く、次いで「公営住宅」、「中古住宅」の順となっています。

4 心身の健康について
 (1) 心身の不調について

心身の不調について(複数回答)

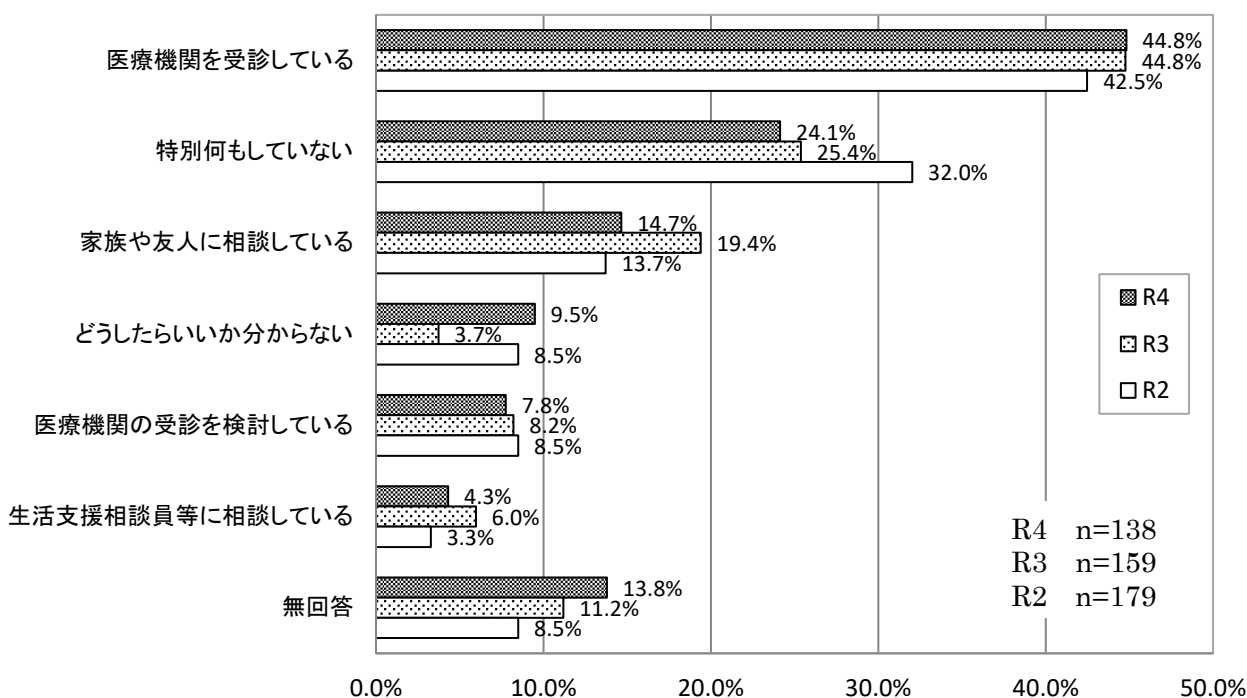


心身の不調については、「疲れやすく体がだるい」が37.9%、次いで「イライラする」が24.1%、「よく眠れない」が21.6%の順となっており、約6割*の方は心身に何らかの不調を抱えています。一方、「特にない」は32.8%となっています。

*「特にない」と「無回答」を除いた割合

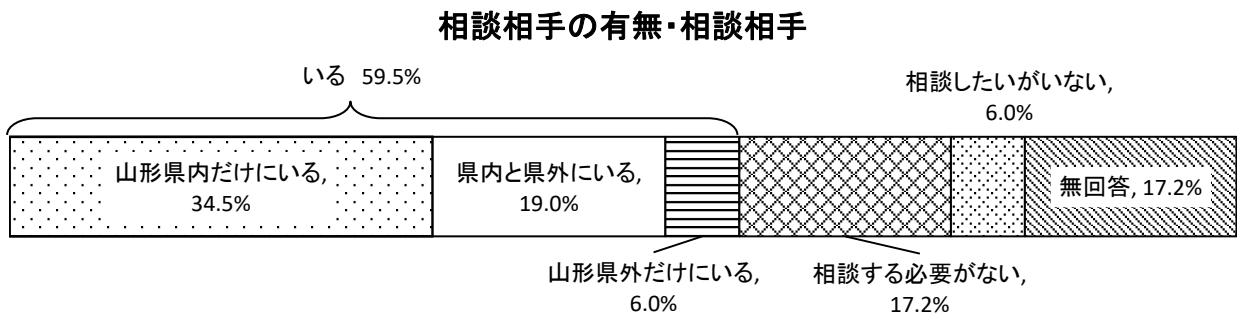
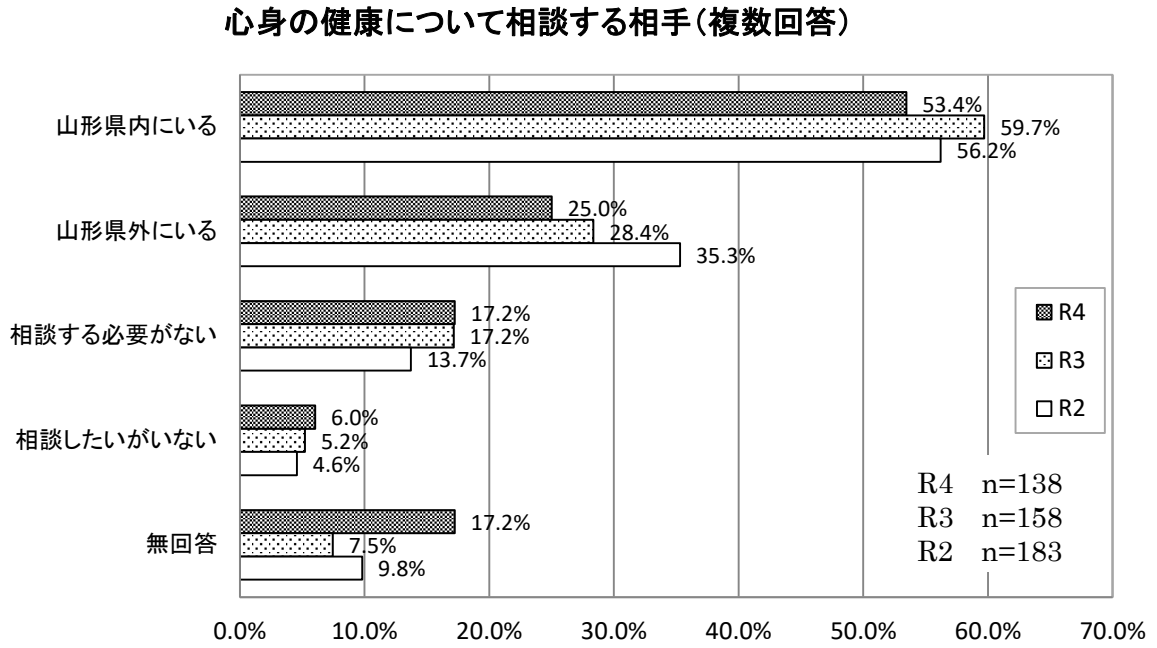
(2) 心身の不調に対する対応について

心身の不調に対する対応(複数回答)



心身の不調に対する対応については、「医療機関を受診している」が44.8%、次いで「特別何もしていない」、「家族や友人に相談している」の順となっています。

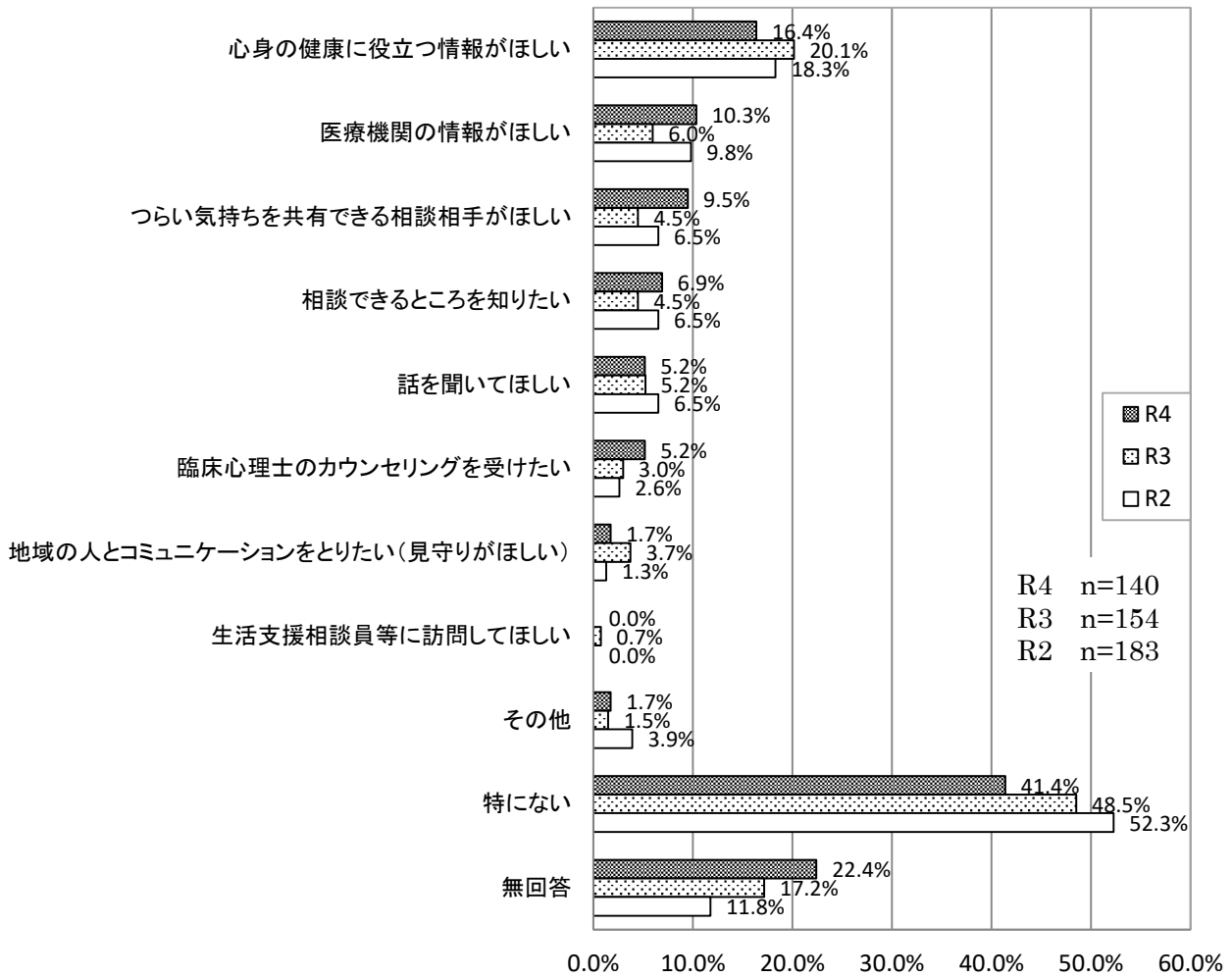
(3) 健康の相談相手について



心身の健康について、相談する相手がいるかをたずねたところ、53.4%が「山形県内にいる」、25.0%が「山形県外にいる」となっており、山形県内外含め「いる」と答えた方は全体の59.5%でした。

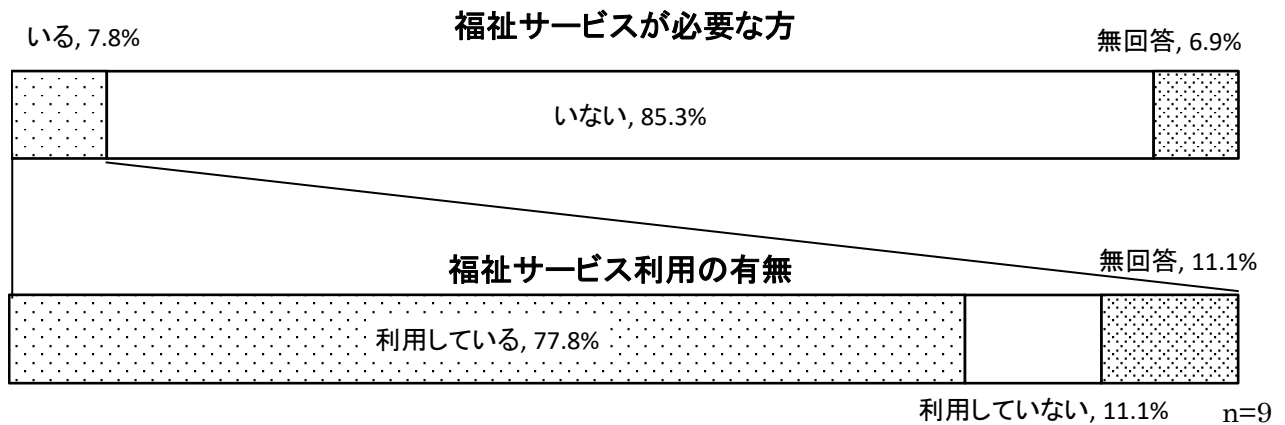
(4) 心身の健康に関する要望について

心身の健康に関して望むこと(複数回答)



心身の健康に関して望むことは、「心身の健康に役立つ情報がほしい」が16.4%、次いで「医療機関の情報がほしい」、「つらい気持ちを共有できる相談相手がほしい」となっています。一方、「特にない」は41.4%となっています。

(5) 福祉サービスの利用状況について

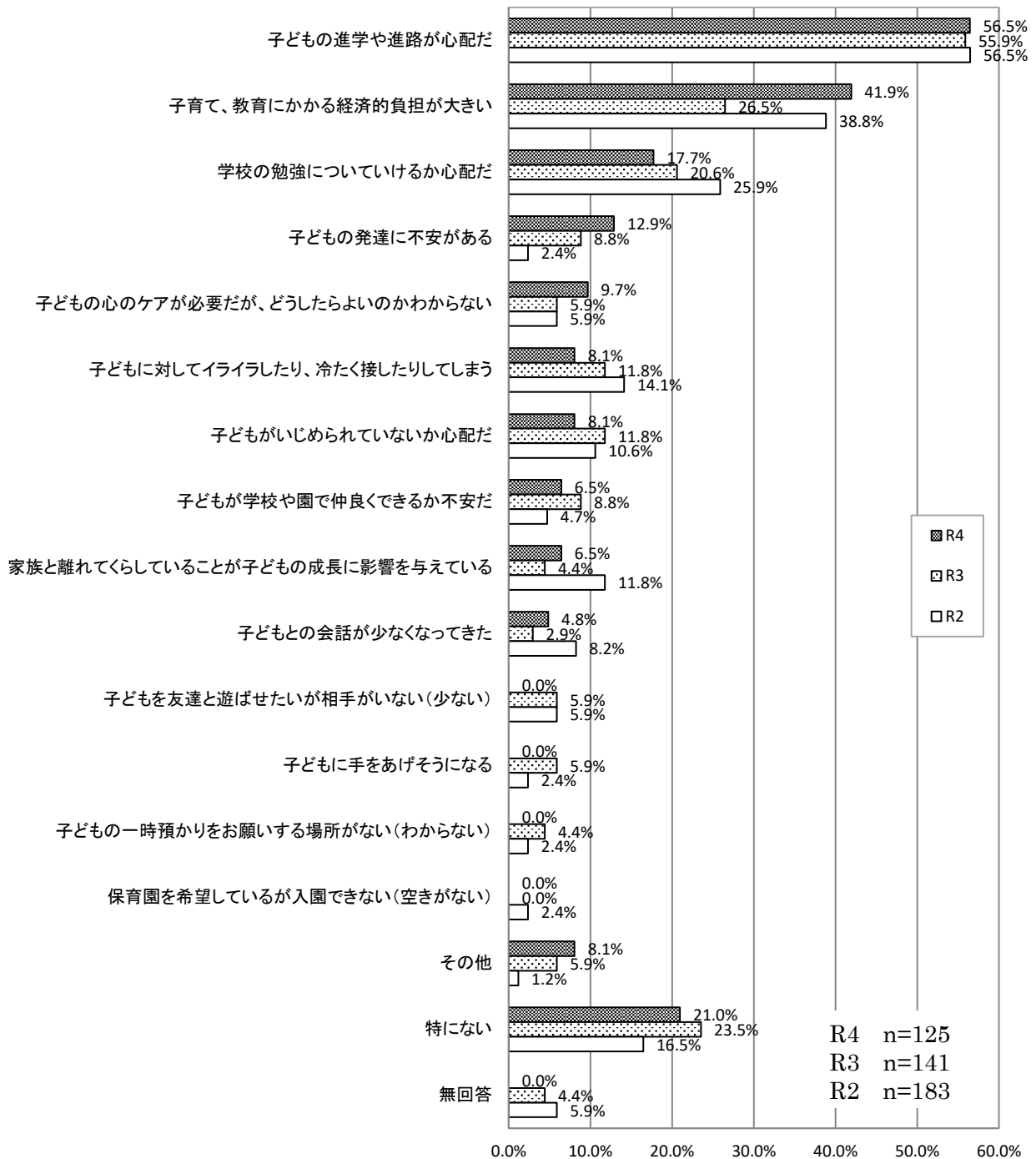


家族に福祉サービスが必要な方がいるのは全体の7.8%で、そのうちサービスを利用しているのは77.8%でした。

5 教育や子育てについて（設問の対象者は18歳以下の子どもがいる世帯の方）

（1）教育や子育てで困っていること、不安なことについて

教育や子育てで困っていること（複数回答）

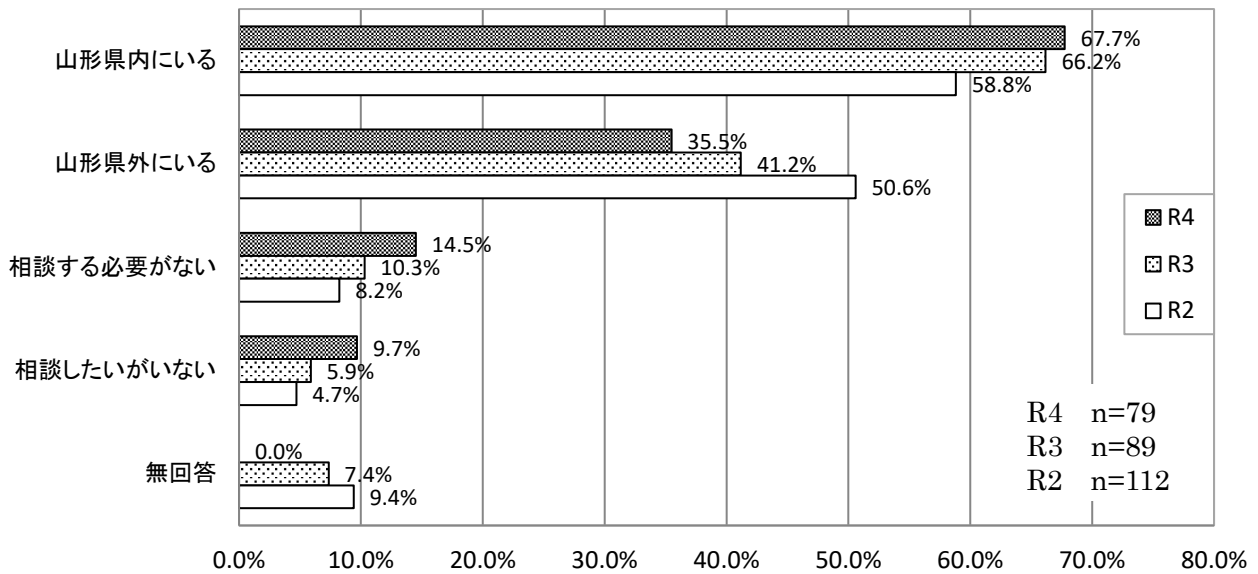


教育や子育てで困っていること、不安なことは、「子どもの進学や進路が心配だ」が56.5%で最も多く、次いで「子育て、教育にかかる経済的負担が大きい」、「学校の勉強についていけるか心配だ」の順となっています。

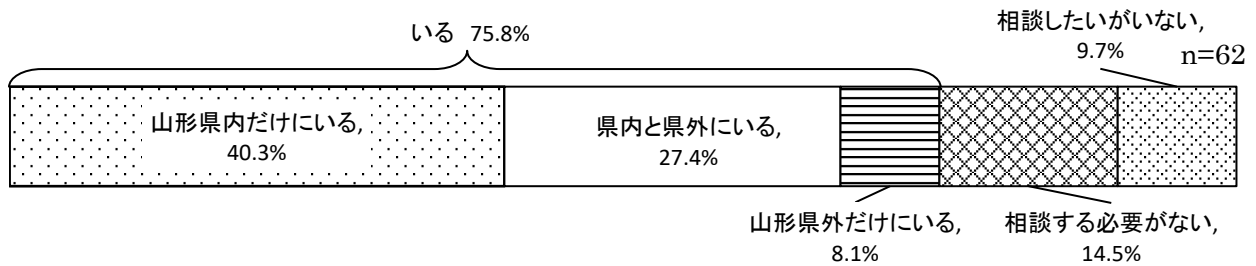
一方、「特になし」は21.0%となっています。

(2) 子育ての相談相手について

子育てについて相談する相手(複数回答)



相談相手の有無・相談相手

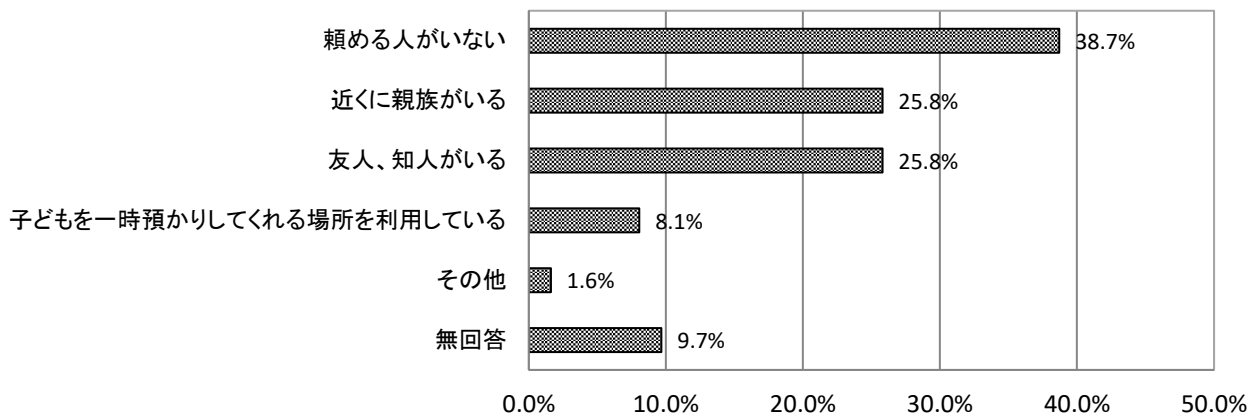


子育てについて、相談する相手がいるかをたずねたところ、67.7%が「山形県内にいる」、35.5%が「山形県外にいる」となっており、山形県内外含め「いる」と答えた方は全体の75.8%でした。

(3) お子さんの預かり先について

困った時にお子さんを頼める方はいるか(複数回答)

n=68

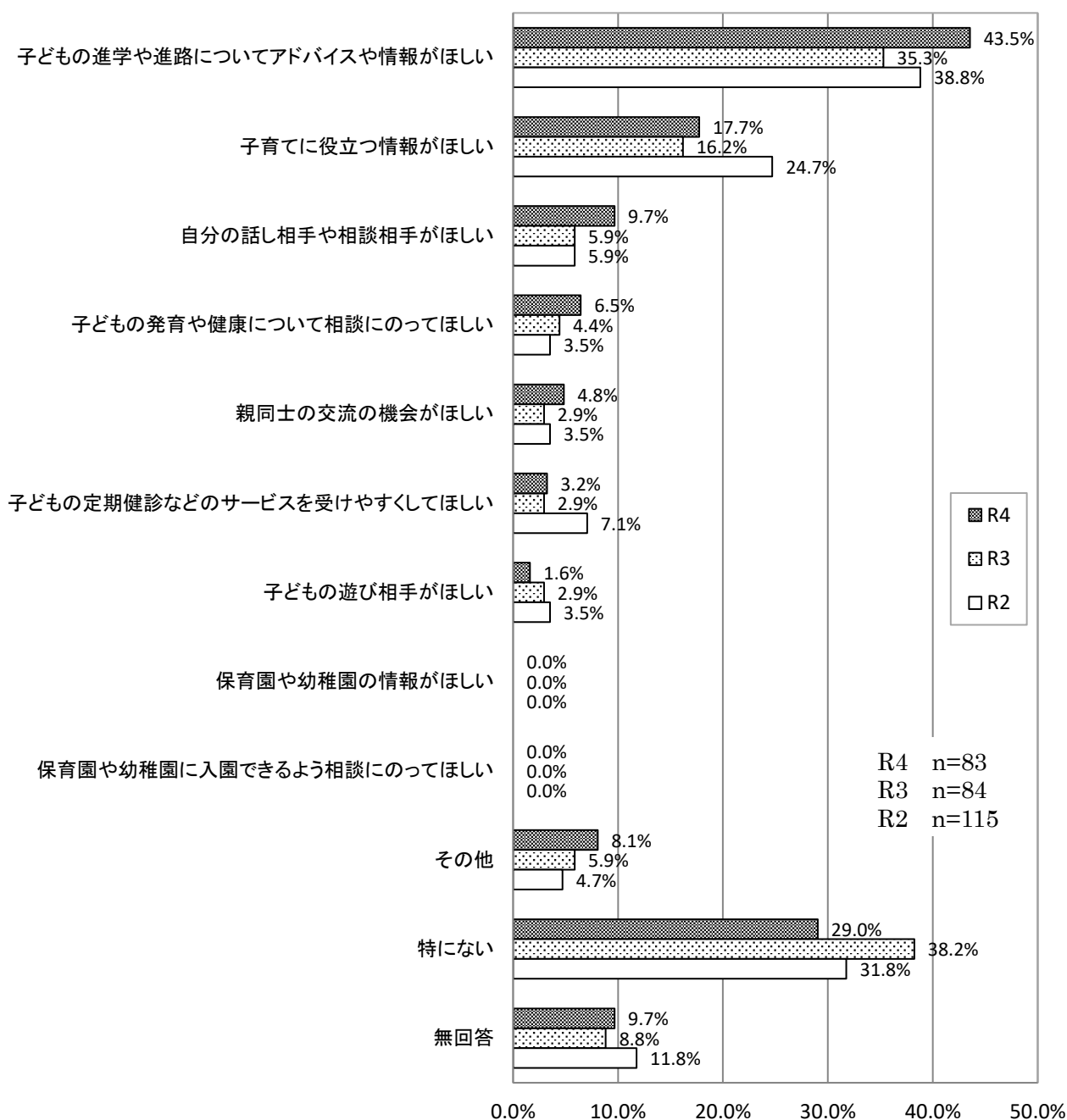


お子さんを頼める方がいるかをたずねたところ、38.7%の方が「頼める人がいない」となっています。また、「子どもを一時預かりしてくれる場所を利用している」が8.1%にとどまっています。

※令和4年度から複数回答、「友人、知人がいる」は令和4年度の新規項目

(4) 教育や子育てに関する要望について

教育や子育てに関する要望(複数回答)



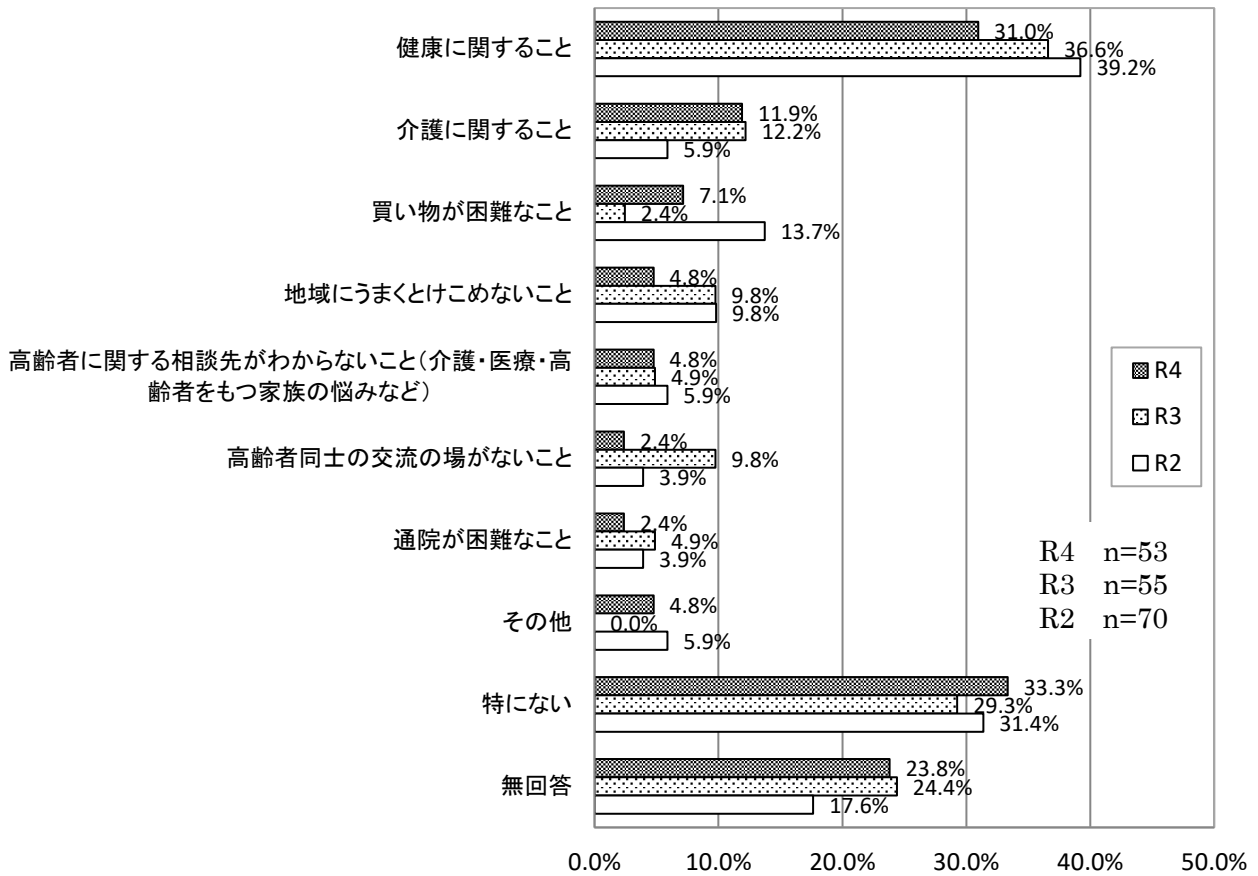
教育や子育てに関して望むことは、「子供の進学や進路についてアドバイスや情報がほしい」が43.5%、次いで「子育てに役立つ情報がほしい」、「自分の話し相手や相談相手がほしい」の順となっています。

一方、「特にない」は29.0%となっています。

6 高齢者の生活について（設問の対象者は65歳以上の高齢者がいる世帯の方）

（1）高齢者の生活で困っていること、不安なことについて

高齢者の生活で困っていること（複数回答）

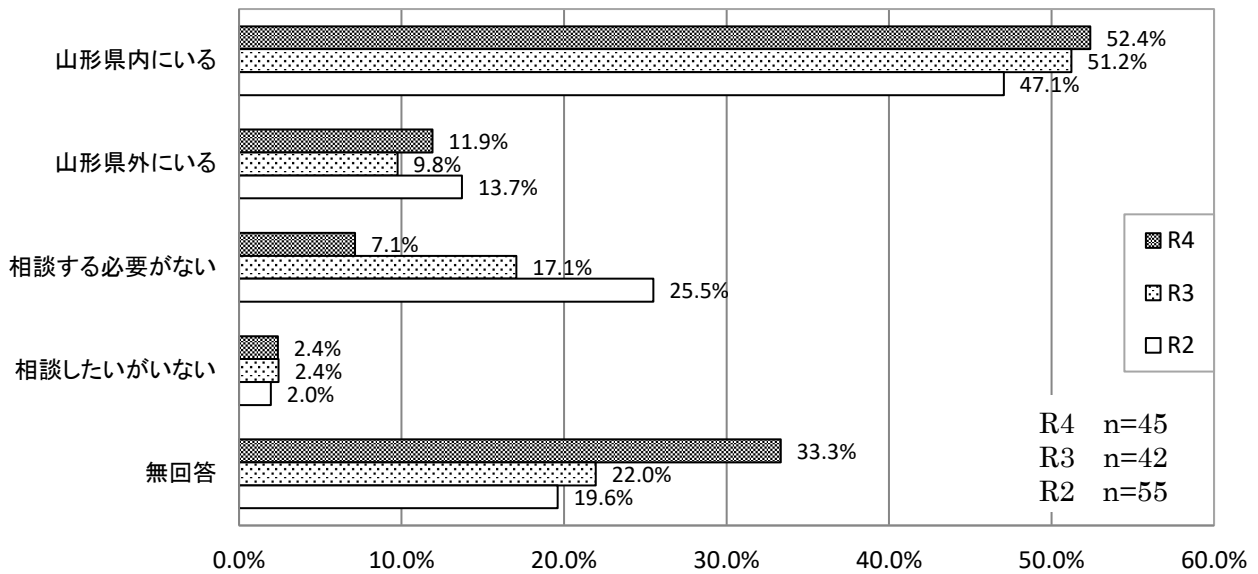


高齢者の生活で困っていること、不安なことは、「健康に関すること」が31.0%、次いで「介護に関すること」が11.9%、「買い物が困難なこと」が7.1%となっています。

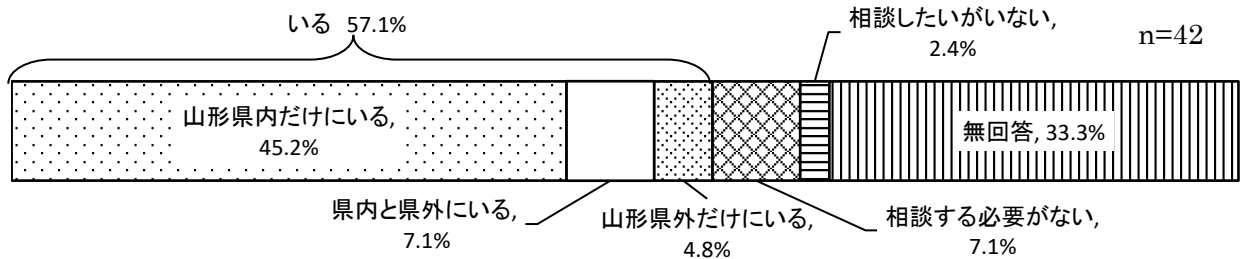
一方、「特にない」は最も多く、33.3%となっています。

(2) 高齢者の生活や介護の相談相手について

高齢者の生活や介護に関して相談する相手(複数回答)



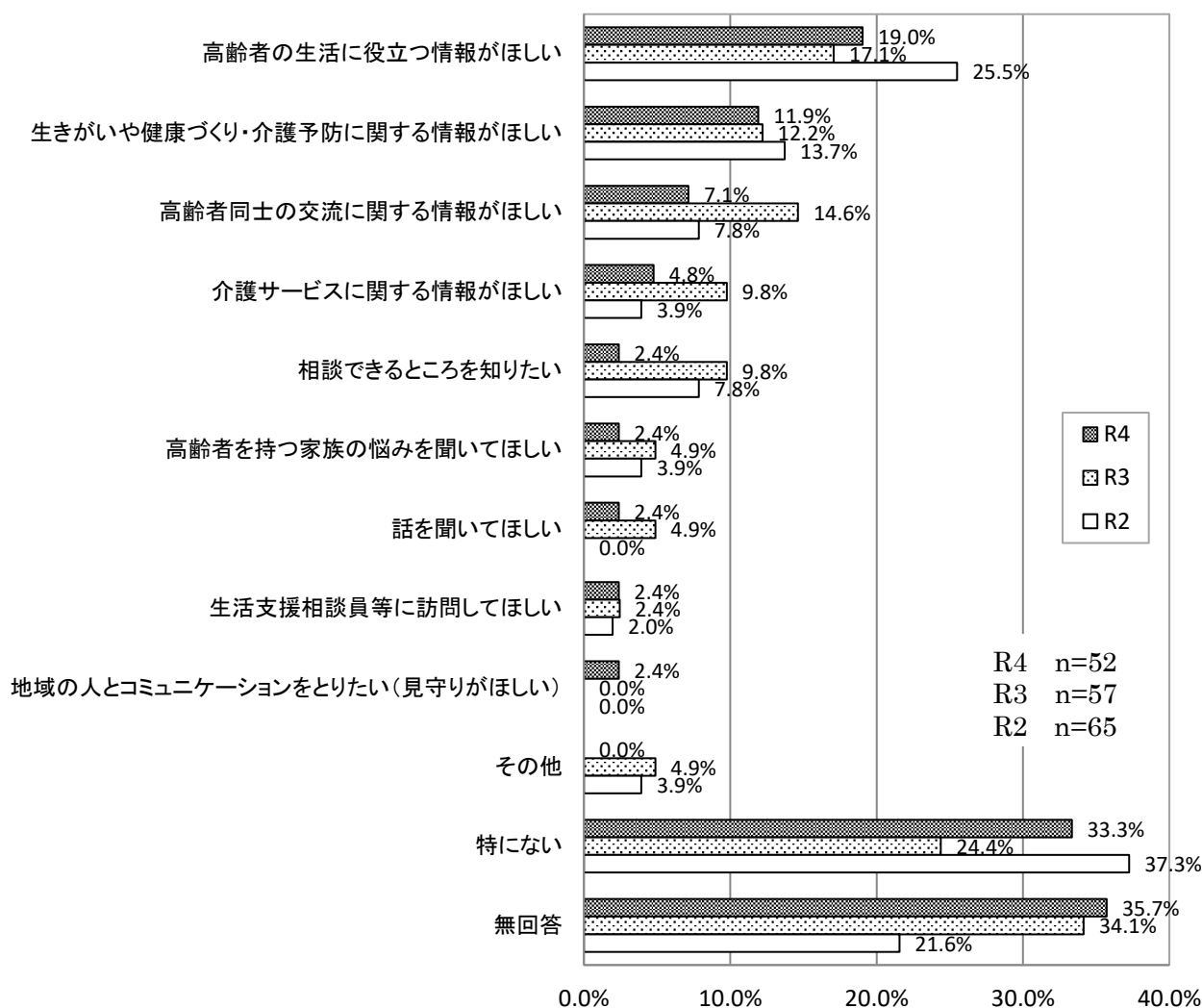
相談相手の有無・相談相手



高齢者の生活や介護について、相談する相手がいるかをたずねたところ、52.4%が「山形県内にいる」、11.9%が「山形県外にいる」となっており、山形県内外含め「いる」と答えた方は全体の57.1%でした。

(3) 高齢者の生活に関する要望について

高齢者の生活に関する要望(複数回答)

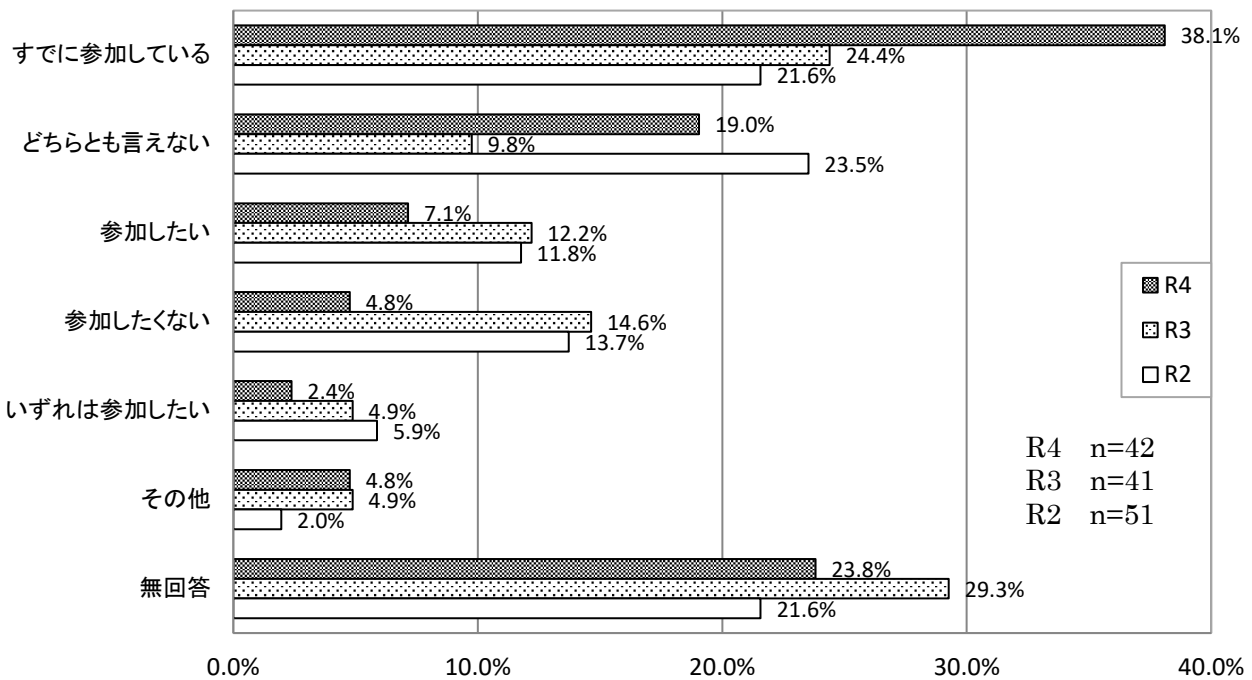


高齢者の生活に関して望むことは、「高齢者の生活に役立つ情報がほしい」が19.0%、次いで「生きがいや健康づくり・介護予防に関する情報がほしい」、「高齢者同士の交流に関する情報がほしい」の順となっています。

一方、「特にない」は最も多く、33.3%となっています。

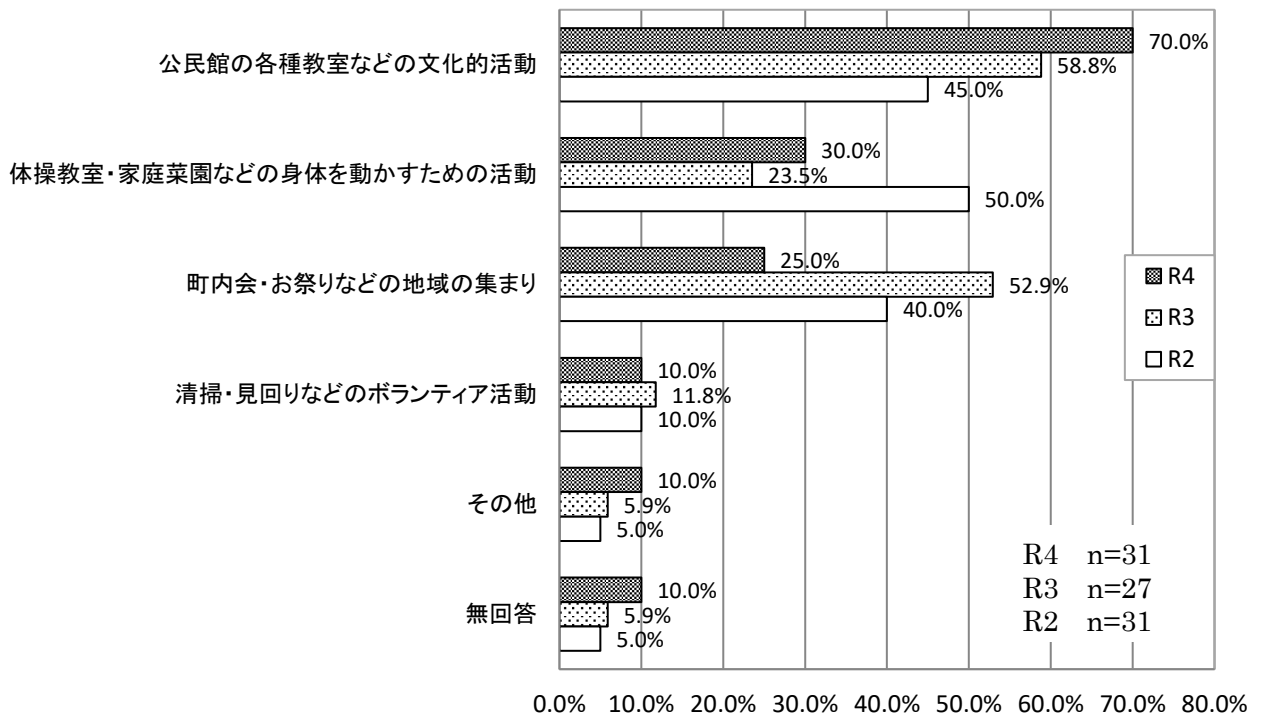
(4) 高齢者の地域活動等への参加意欲について

地域の活動または地域の交流の場に参加してみたいと思うか



地域の活動または地域の交流の場に、参加してみたいかたずねたところ、「すでに参加している」が38.1%、「参加したい」が7.1%、「いずれは参加したい」が2.4%と、約5割の方が参加意欲を持っています。

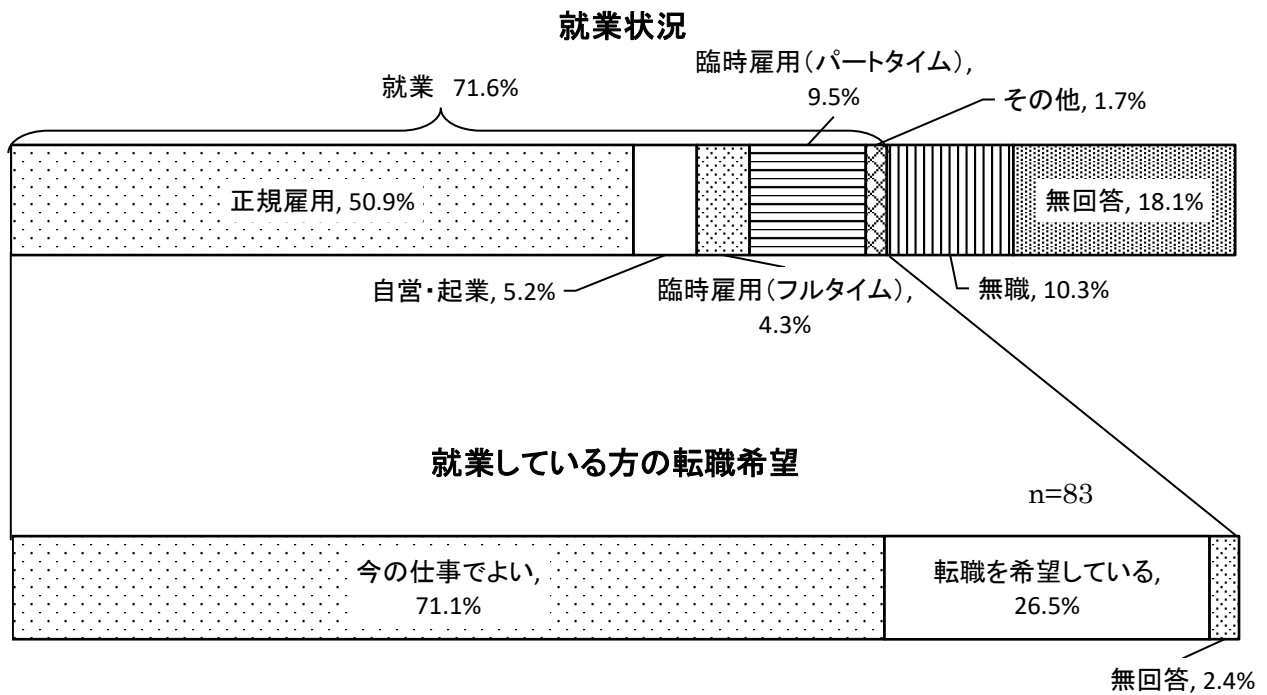
「参加したい」「いずれは参加したい」「すでに参加している」と答えた方の活動・交流の場(複数回答)



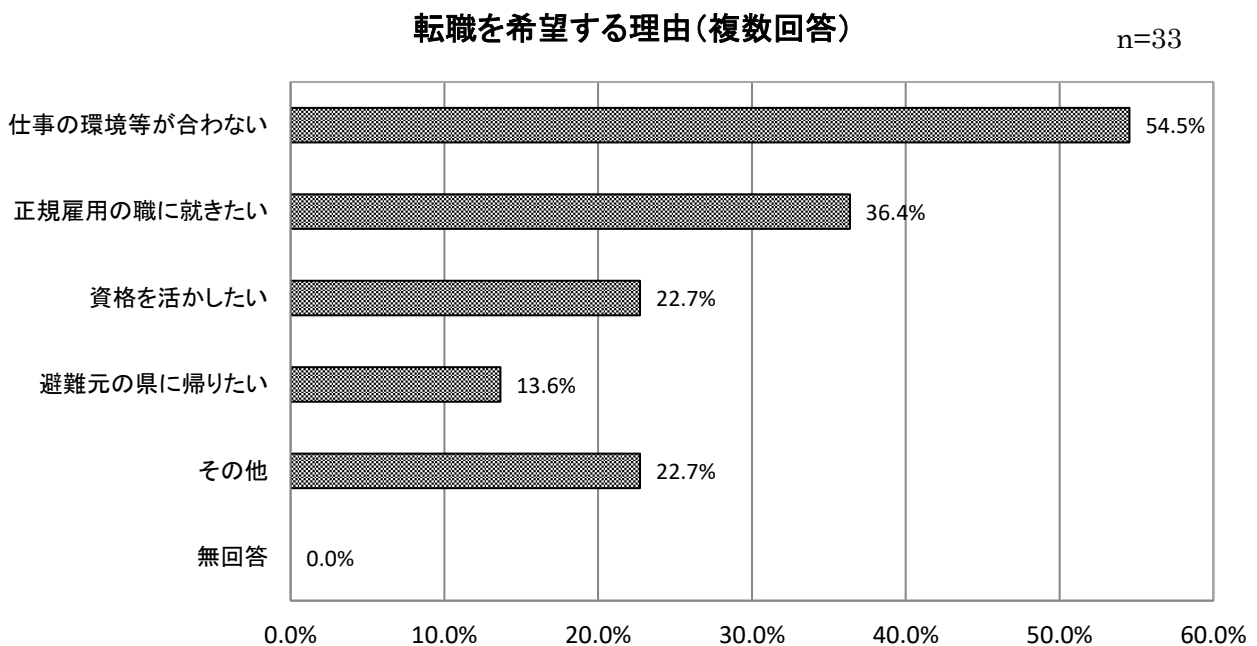
参加意欲を持っている方に対して、どのような活動または交流の場に参加したいかたずねたところ、「公民館の各種教室などの文化的活動」が70.0%と最も多く、次いで「体操教室・家庭菜園などの身体を動かすための活動」、「町内会・お祭りなどの地域の集まり」の順となっています。

7 就業・就職について

(1) 主に生計を支えている方の就業状況について



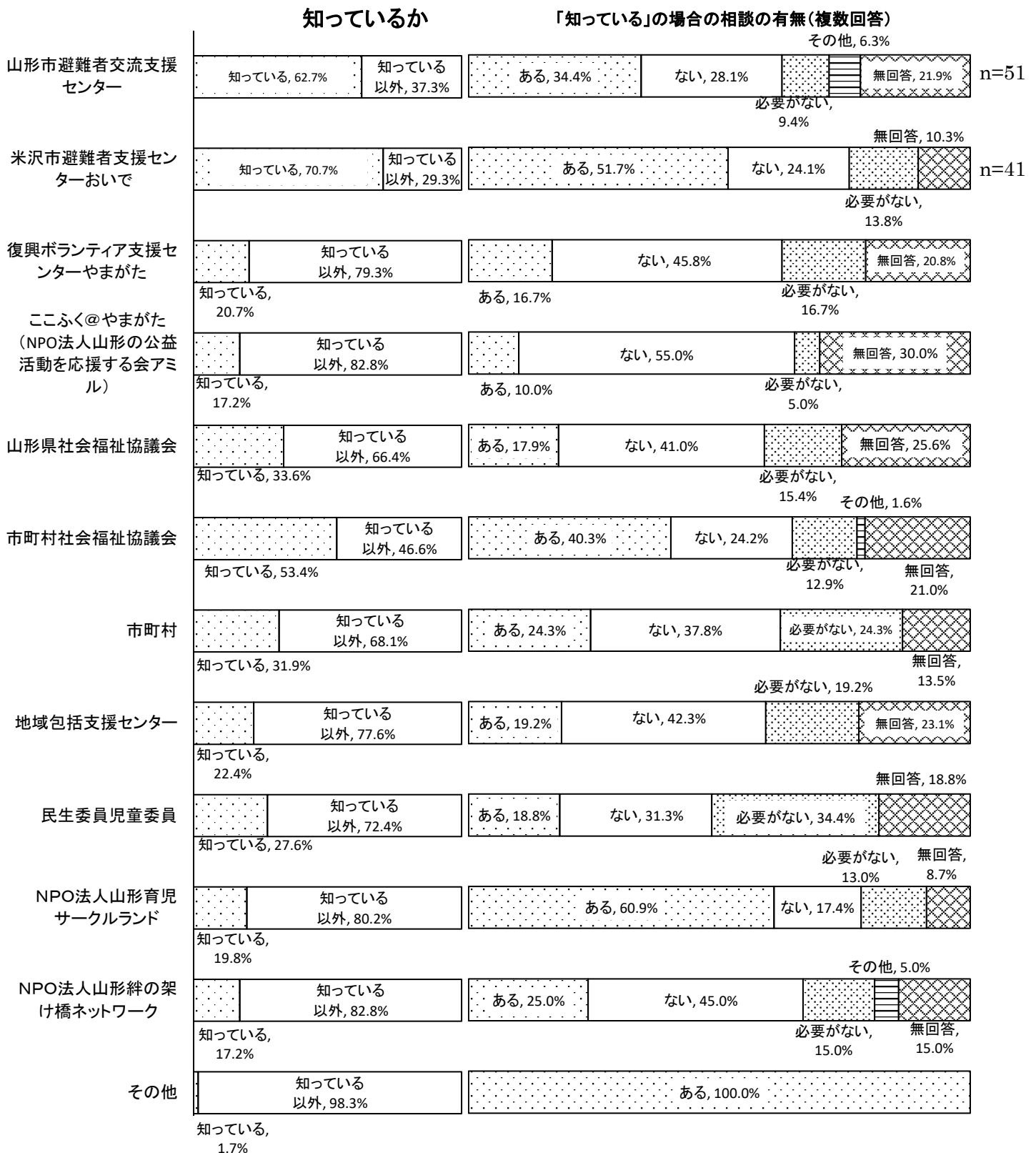
(2) 転職の希望について



主に生計を支えている方の就業状況は、全体の 71.6%が現在就業しており、無職の方は 10.3%となっています。現在就業している方で「転職を希望している」と答えた方は 26.5%で、その理由としては「仕事的环境等が合わない」が 54.5%で最も多く、次いで「正規雇用の職に就きたい」が 36.4%、「資格を活かしたい」と「その他(賃金の減少、避難元への通勤が困難など)」が同率で 22.7%の順となっています。

8 相談支援機関と相談交流について

(1) 相談支援機関の利用状況

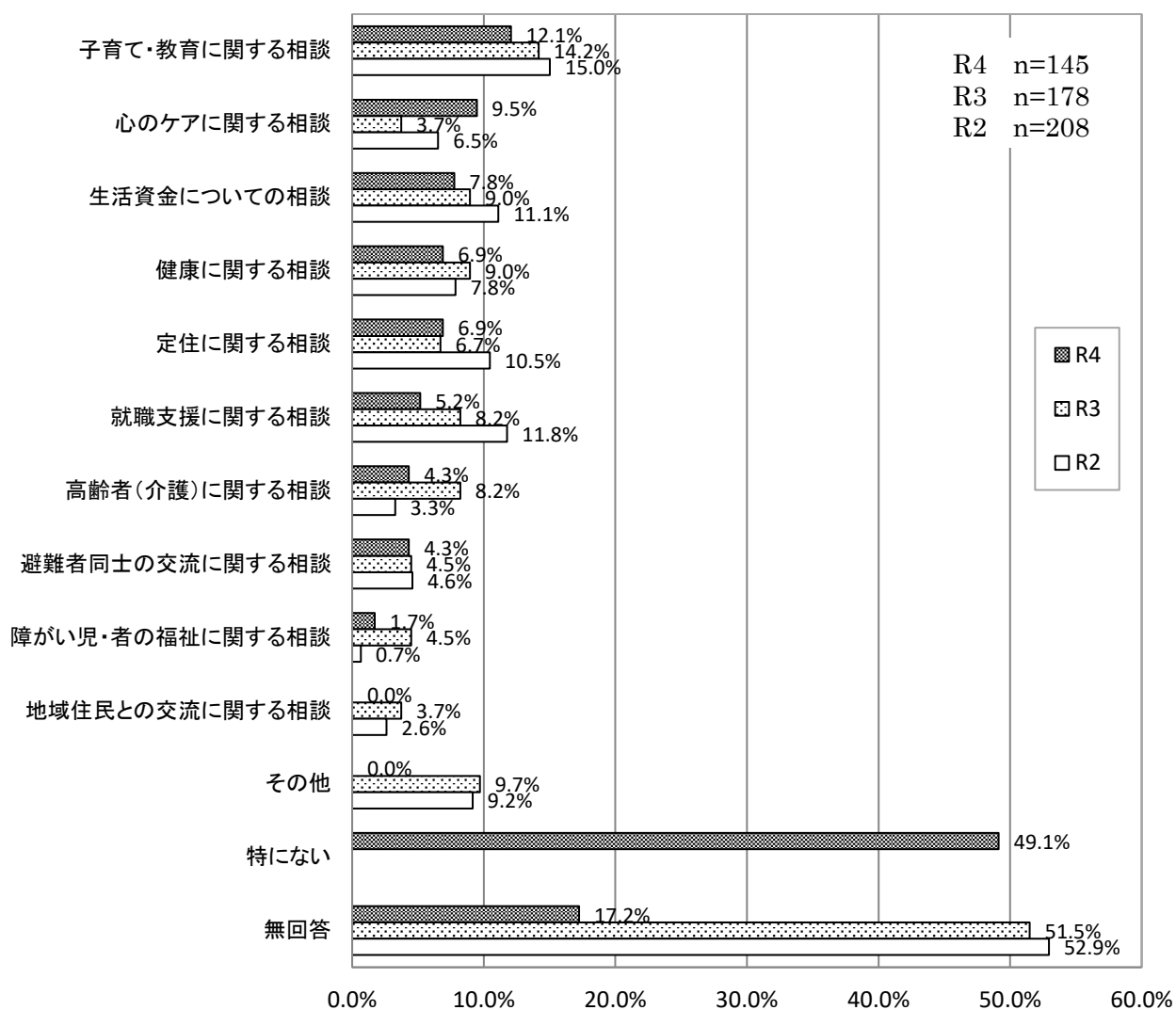


村山地域では、「山形市避難者交流支援センター」を知っている方が62.7%、置賜地域では、「米沢市避難者支援センターおいで」を知っている方が70.7%となっています。市町村社会福祉協議会は、53.4%の方が知っており、そのうち40.3%の方が相談したことがあると答えています。

※「山形市避難者交流支援センター」の母数は村山地域、「米沢市避難者支援センターおいで」の母数は置賜地域

(2) 相談支援機関への相談について

相談支援機関に対し相談したいこと(複数回答)

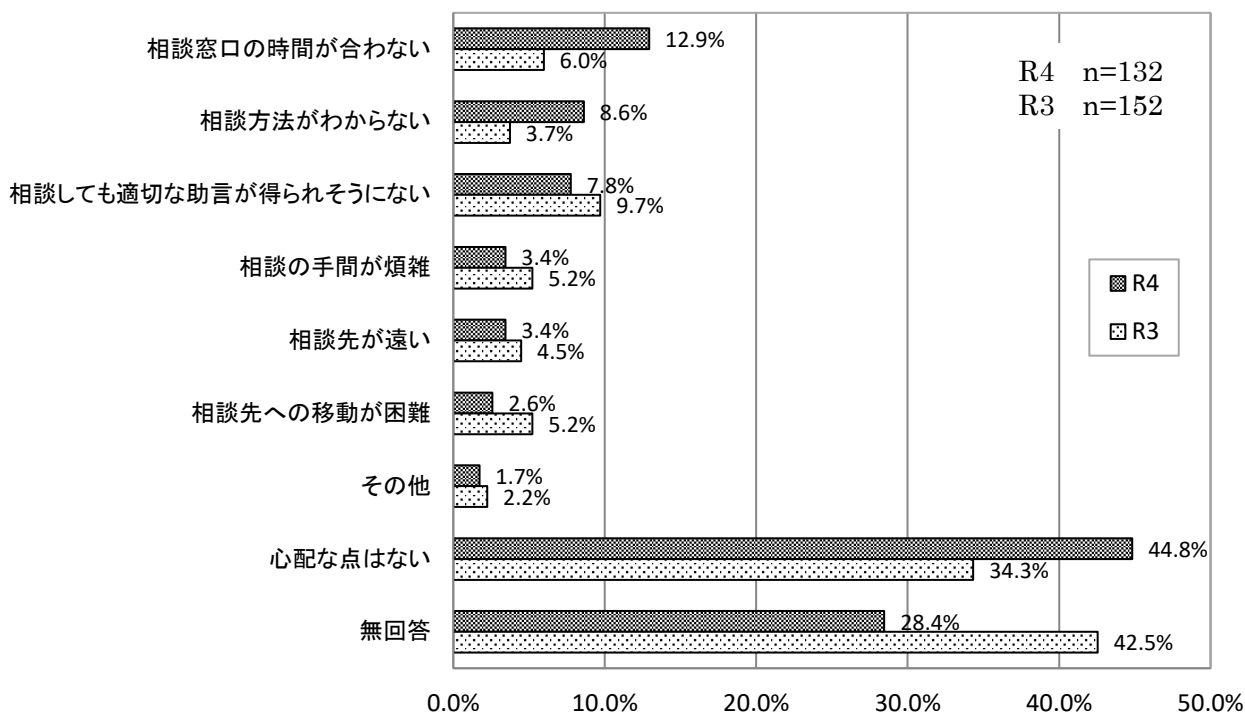


相談したいことは、「子育て・教育に関する相談」が12.1%、次いで「心のケアに関する相談」、
「生活資金についての相談」の順となっています。

一方、「特にない」は最も多く、49.1%となっています。

※「特にない」は令和4年度の新規項目

相談支援機関に相談する際に心配な点(複数回答)



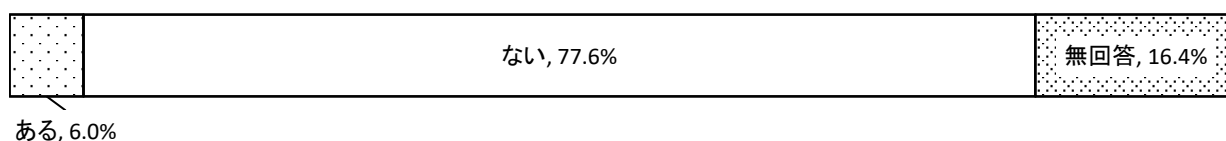
相談する際に心配なことは、「相談窓口の時間が合わない」が12.9%、次いで「相談方法がわからない」が8.6%となっています。

一方、「心配な点はない」が最も多く、44.8%となっています。

※令和3年度の新規項目

(3) 戸別訪問について

戸別訪問についての意見や要望の有無



戸別訪問についての意見や要望があると答えた方は全体の6.0%となっています。

「ある」と答えた方の回答(自由記入)

- ・仕事があるため、ポスティングで終わっている。できれば、お会いして話がしたい。
- ・日中仕事をしているので、時間が合わない。
- ・現在は山形市に住所も移し、山形市民として、特に何も問題なく生活しています。様子を伺いながらお米など頂くのですが、なんとなく心苦しいです。
- ・仕事のためいつも不在なので申し訳ない。戸別訪問は希望者だけでよいのではと思う。

などの記載がありました。

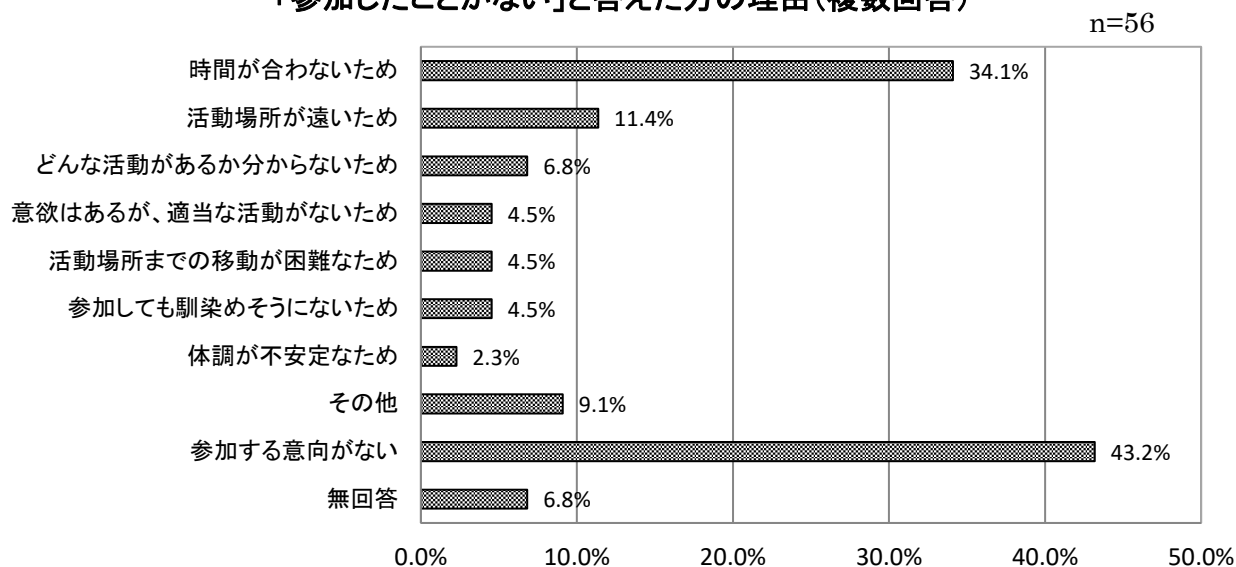
※「戸別訪問についての意見や要望の有無」は令和4年度の新規項目

(4) 相談交流の参加状況

相談交流会やサロンなどのイベント参加の有無

参加したことがある, 45.7%	参加したことがない, 37.9%	無回答, 16.4%
---------------------	---------------------	------------

「参加したことがない」と答えた方の理由(複数回答)



相談交流会やサロンなどのイベントに「参加したことがある」方が 45.7%、「参加したことがない」方が 37.9%となっています。「参加したことがない」理由は、「時間が合わないため」が 34.1%、次いで「活動場所が遠いため」、「どんな活動があるかわからないため」の順となっています。

一方、「参加する意向がない」は最も多く、43.2%となっています。

※「参加したことがないと答えた方の理由」は令和4年度の新規項目

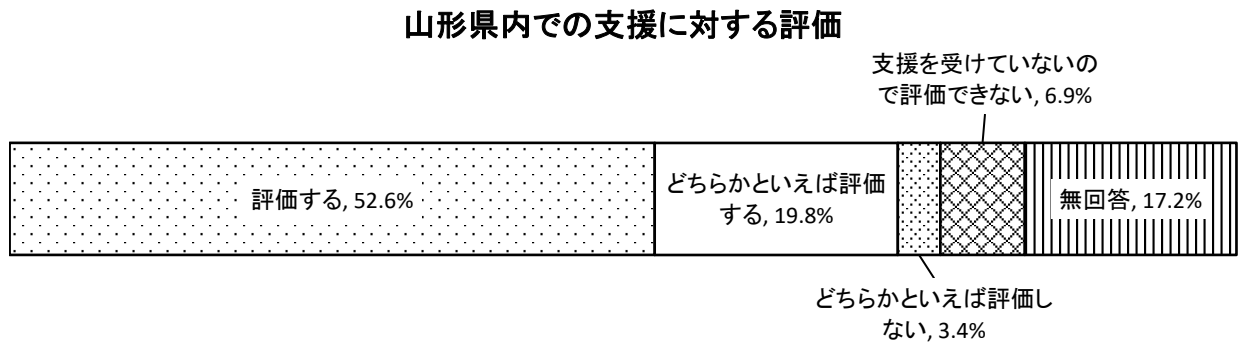
今後、参加したいイベントや相談交流の場（自由記入）

- ・休日に子どもと参加できるイベントがあれば嬉しいです。
- ・身体を動かしたり、交流したりする機会が減ったので、体験などしてみたい。
- ・プチ旅行
- ・コロナ禍が落ちついたら、バスツアーで昼食会もあるイベント
- ・引き続き就職支援相談をやってほしいです。
- ・避難者の交流

などの記載がありました。

9 県内で行っている避難者支援事業について

(1) 山形県内での支援に対する評価



避難者に対する山形県内での支援（県、市町村、ボランティア団体等）についてどのように感じているかは、「評価する」が52.6%、「どちらかといえば評価する」が19.8%と、約7割の方に評価されています。

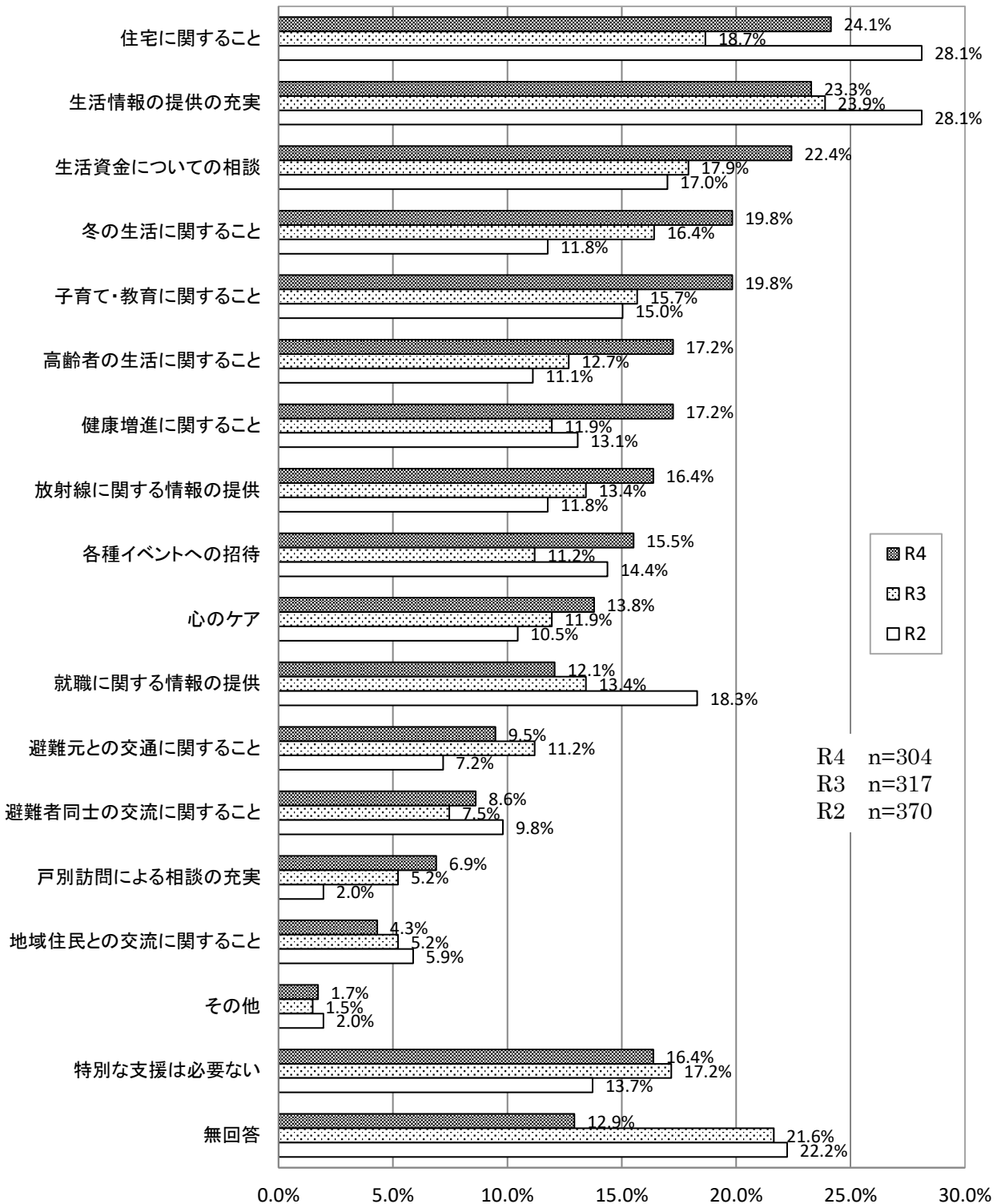
(2) 避難者支援事業の利用状況及び評価について



避難者支援事業別に利用状況を見ると、「生活支援相談員による訪問や相談」が57.8%と最も多く、次いで「復興ボランティア支援センターやまがたによる情報提供」と「避難者交流会」が同率で48.3%、「山形県から送付された冊子・リーフレット」は46.6%の方が利用、参加されており、いずれも8割以上の方が「評価する」と答えています。

(3) 県内での避難者への支援として期待するもの

避難者への支援として期待するもの(複数回答)



山形県内の避難者への支援として期待するものは、「住宅に関すること」が24.1%と最も多く、次いで「生活情報の提供の充実」、「生活資金についての相談」の順となっています。一方、「特別な支援は必要ない」は16.4%となっています。

(4) 今後実施してほしい避難者支援事業（自由記入）

- ・実家が遠くないからこそ、私と同じような母子避難者に絞って、世帯訪問や相談、電話で悩みごとを聞いてほしい。
- ・山形市避難者交流支援センターをずっと続けてほしい。もしなくなったら心の拠り所がない。今よりずっと不安になる。
- ・3ヶ月～4ヶ月に1度でも良いので何でも相談出来る場を設けてほしい。パソコンや携帯で申し込まなければならぬ書類がきたときに申込みができない。
- ・以前は避難者交流支援センターに行って交流していたが、バス代補助がなくなり、負担が増え行けなくなってしまった。とても楽しみにしていたので本当に残念。だれかと定期的にコミュニケーションがとれる機会がほしい。
- ・ジム、フラの教室、ヨガ、モルック体験。
- ・冬の除雪を助けてほしいです。
- ・市営、県営住宅に関すること。
- ・賃貸家賃の補助金の支援をしてほしい。
- ・生活資金についての相談、心のケア、冬の生活に関することを手厚くしていただきたいです。特に生活資金、支援物資など。
- ・就学援助を復活させてほしい。学習支援（格安の塾など）をしてほしい。
- ・大学進学時、保証人がいないため市の教育委員会奨学金制度に該当しなかったため、こちらに親戚がいない時の場合に、何とかしていただくと助かります。もしくは独自の奨学金制度があったら助かります。
- ・高速道路の無料を続けてほしい。
- ・10年間、地域の社協の方にお世話になり、とても助かりました。今後ともしばらく山形県に住んで安心して子育てしていきたいです。

などの記載がありました。

10 自由記入欄（抜粋）

（１）避難元に対し県から伝えてもらいたいこと

- ・避難者のことを忘れないで！
- ・平日の日中以外に、相談できる時間を設けてほしい。
- ・健康被害はないという前提ではなくしっかり被害と向き合ってもらいたい。原子力発電所への対応など、プレッシャーをかけてもらいたい。
- ・避難元の学生に対する支援などの情報がわからない。
- ・住民票を避難元に残してあるので税金払っているが、県外にいてその支援が受けられていない。その分、代わりに支援を希望する。
- ・賃貸家賃の補助金の支援の継続。

（２）政府に対し県から伝えてもらいたいこと

- ・未だ避難している人がいることを忘れないでほしい。
- ・原発が原因で困っている人がいるのを忘れないで、責任を持ち、最後まで対応してほしい。
- ・医療費一部免除の継続。
- ・避難元までの高速道路代免除の継続。あと何年続くかわからないですが二重生活をしているためなくなると困る。ちゃんと理由がある人たちにはこれからもお願いしたい。
- ・自主避難者に対する支援について考えてもらいたいです。
- ・二重生活で費用がかさみ続けている。どんな形でもいいので金銭的な助けがほしい。
- ・家賃を半額でも免除してもらえるとありがたいです。本当に苦しいです。
- ・避難元の土地を処分したい。原発事故によりやむなく去ることになったが、避難生活の長期化により、自分や家族の健康状態も変化し帰還は難しい。買い手があるとも思えない土地を今後もち続けると、管理、固定資産税、相続と次々問題が出てくるので、無償で良いので引き取ってほしい。
- ・避難者が思っている不安、心配をぜひ伝えてください。本当は帰りたい。

（３）その他、日頃から感じていることなど

- ・子供の教育サービスが少ないと感じる。特に大学進学のための高等教育。
- ・故郷に帰っても人も少なく、店もなく、にぎやかさがなくなってしまっている。こんな町に若人は帰ってくるだろうか…。こんなところに帰っていいのだろうか…。不満、不安はつきない。
- ・あれから11年がたち親のことを考えると、福島へ戻るべきか…。収入の面でもなかなかきびしく、今後について本当に悩みます。どうしたらいいのか考えがまとまりません。
- ・同じ東北でも方言があるのでとても不安があるが、素直に伝えられない。そのためなおさら高齢者が孤立しているように思う。
- ・現在でも様々な取組みをされていることに少し驚きもあります。まだ生活が安定せずに不安な日々を過ごしている方々が、支援される側から脱出できることを願っています。
- ・様々な支援を受け現在の生活が可能となっている。生活支援相談員さんには特に世話になっている。県、市に対して感謝しています。

その他、山形県、県内市町村の支援に対し、感謝しているとの声を多数いただきました。

Ⅲ 参考資料

アンケート調査票

- ★ 回答方法については「該当する番号に○」、「該当する番号の選択」又は「記述」にてお願いします。
- ★ 山形県内にお住まいの世帯の代表の方（世帯主の方や、母子のみ避難の場合は保護者の方等）がご記入くださいますようお願いいたします。
- ★ QRコードからご入力いただいた方は、紙で提出していただく必要はありません。
※QRコードは（株）デンソーウェーブの商標登録です。



※このアンケートを記入されている方についてお答えください。

性別（ 1. 男性 2. 女性 ）

年齢（ 1. 29歳以下 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上）

現在お住まいの市町村（ ）市・町・村

1 世帯の現状について

問1 このアンケートを記入されている方の世帯はどのような状況ですか。

現在のお住まい		1. 県借上げ住宅 2. 公営住宅（県・市町村営） 3. 親戚、知人宅 4. 賃貸住宅（自己負担・旧雇用促進住宅を含む） 5. 持ち家（避難後に取得）⇒（1. 戸建新築 2. 戸建中古 3. 分譲マンション） 6. その他（ ）	
避難元の住所	県	1. 岩手県 2. 宮城県 3. 福島県 4. その他（ ）	
	市町村	（ ）市・町・村	
避難された理由		1. 原発事故による避難指示等があった <input checked="" type="checkbox"/> 2. 1以外	
上記で2.の場合		1. 家屋が損壊し住めない状態になったため 2. 放射線による健康への影響が心配なため 3. その他（ ）	
山形県に避難されている家族	人数	（記入されているご本人も含む： ）人	
	構成	1. 18歳以下の子どもがいる	1. 両親共にいる世帯 2. 母子のみ世帯 3. 父子のみ世帯 4. 1～3を除く世帯
		2. 18歳以下の子どもがいない	1. 単身（65歳未満） 2. 単身（65歳以上） 3. 65歳以上のみの複数人世帯 4. 1～3を除く世帯
		3. 65歳以上の高齢者	1. いる → (1. 単身 2. 65歳以上のみの複数人世帯 3. 65歳以上を含む複数人世帯) 2. いない
避難の状況		1. 家族全員で避難（単身含む） <input checked="" type="checkbox"/> 2. 家族と離れて避難	
離れている家族と会う頻度		1. 週1回 2. 月2～3回 3. 月1回 4. 2～3か月に1回 5. 半年に1回 6. 1年に1回 7. 定期的に会っていない 8. その他（ ）	

2 山形での生活について

問 2-1 今の生活で困っていること、不安なことは何ですか。最も困っているものから順にお答えください。(5つまで)

①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

1. 生活資金のこと
2. 仕事のこと
3. 住まいのこと
4. 自分や家族の心の健康
5. 自分や家族の身体の健康
6. 育児・子育てのこと
7. 教育のこと
8. 高齢者の生活のこと
9. 困りごとの相談相手がいないこと
10. 生活に関する情報の入手のこと
11. 避難元の情報が入らないこと
12. 家族、友人など人間関係のこと
13. 山形県での冬(雪)の生活のこと
14. 地域にうまくとけこめないこと
15. 放射線の影響のこと
16. 残してきた家や財産のこと
17. 地元の家族と過ごす時間が少ないこと
18. 避難生活の先行きが見えないこと
19. 地元との交通に関すること
20. 避難先で必要な行政サービスが受けられないこと
- (内容:)
21. その他 ()
22. 特にない

問 2-2 世帯の生活資金はどこから得ていますか。(3つまで)

①		②		③	
---	--	---	--	---	--

1. 避難している方の給料や賃金
2. 避難元で働いている家族の給料や仕送り
3. 年金
4. 児童手当・児童扶養手当等の各種手当
5. 雇用保険の失業給付等
6. 貯金
7. 生活保護
8. 親戚・知人からの援助
9. 東京電力からの損害賠償金
10. その他(具体的に)

問 2-3 避難者支援に関する情報を何から入手していますか。(複数回答可)

1. 行政機関(県・市町村)からののお知らせ(避難元を含む)
2. 社会福祉協議会(生活支援相談員)からののお知らせ
3. 支援団体等からののお知らせ
4. 避難者支援センターの窓口
5. 携帯電話、スマートフォン、タブレット等
6. パソコン
7. 友人、知人
8. テレビ
9. ラジオ
10. 新聞
11. その他()
12. 入手する手段がない

問 2-4 避難者支援に関する情報で希望する内容は何か。(複数回答可)

1. 住宅に関すること
2. 仕事に関すること
3. 健康に関すること
4. 教育や子育てに関すること
5. 高齢者の生活に関すること
6. 交流会に関すること
7. 避難元の復興状況
8. 避難元の行政情報
9. 山形県内の生活情報
10. 山形県内のイベント情報
11. その他()

問 2-5 新型コロナウイルス感染拡大により、生活にどんな影響がありましたか。最も影響があったものから順にお答えください。(3つまで)

①		②		③	
---	--	---	--	---	--

1. 雇用関係に変化があった(解雇など)
2. 勤務先の状況により収入が減少した
3. 求職活動に支障があった
4. 交流会等の中止により気分が落ち込む
5. イベント等の中止により地域との関わりが減った
6. 移動自粛により避難元にいる家族との時間が減った
7. 感染が心配で通院が困難になった
8. 休校のため勉強の遅れが心配
9. 子供の預け先がなく仕事に支障があった
10. 高齢の家族が介護サービスを受けられずに家族の負担が増加した
11. 先行きへの不安のため心身に不調をきたした
12. その他

()

13. 特にない

問 2-6 新型コロナウイルス感染拡大による影響について、相談したいことはありますか。

()

生活支援相談員等との相談をご希望の方は、末尾に連絡先を記入してください

3 今後の生活について

問 3-1 今後の予定についてお答えください。(最もあてはまるもの1つを回答)

1. 避難元の県に戻って生活したい →問 3-2~3 へ
2. もうしばらく山形県で生活したい →問 3-2 以下すべての質問へ
3. 山形県に定住したい →問 3-4~6 へ
4. 避難元県及び山形県以外の都道府県に移り住みたい →問 3-2 へ
5. 今後どこで生活するか未定である →問 3-3 へ

問 3-2 問 3-1 で「1. 避難元の県に戻って生活したい」「2. もうしばらく山形県で生活したい」「4. 避難元県及び山形県以外の都道府県に移り住みたい」と答えた方にお聞きします。今後山形県内での生活はいつまでと考えていますか。(最もあてはまるもの1つを回答)

1. 避難指示が解除されるまで
2. 除染が終了するまで
3. 放射線の心配がなくなるまで
4. 避難元が復興するまで
5. 避難元の住居が復旧・確保できるまで
6. 避難元で仕事が見つかるまで
7. 借上げ住宅の提供が続く限り
8. 子どもの入学、入園や卒業、卒園まで
9. 子どもが独立するまで
10. 今の就職先を定年退職するまで
11. その他 ()
12. わからない、未定

問 3-3 問 3-1 で「1. 避難元の県に戻って生活したい」「2. もうしばらく山形県で生活したい」「5. 今後どこで生活するか未定である」と答えた方にお聞きします。避難元の県へ帰還することとなった場合、心配なことは何ですか。(複数回答可)

1. 生活資金のこと
2. 仕事のこと
3. 住まいのこと
4. 自分や家族の心の健康
5. 自分や家族の身体の健康
6. 育児・子育てのこと
7. 教育のこと
8. 困りごとの相談相手がいないこと
9. 生活に関する情報の入手のこと
10. 避難元の情報が入らないこと
11. 家族、友人など人間関係のこと
12. 地域住民との人間関係のこと
13. 放射線の影響のこと
14. 先行きが見えないこと
15. その他 ()
16. 特にない

問 3-4 問 3-1 で「2. もうしばらく山形県で生活したい」「3. 山形県に定住したい」と答えた方は、どのような理由からですか。(複数回答可)

1. 避難元に近いたため
2. 放射線の心配が少ないため
3. 山形県が気に入ったため (内容 :)
4. 持ち家を取得したため
5. 定住を支援する施策があったため
6. 山形県での生活に慣れたため
7. 家族の中に山形県出身者がいるため
8. 親類・知人がいるため
9. 就職したため
10. 子どもが就学したため
11. 知り合いが増えたため
12. その他 ()
13. 特にない

問 3-5 問 3-1 で「**2.** もうしばらく山形県で生活したい」「**3.** 山形県に定住したい」と答えた方は、どのような住居を希望しますか。(最も希望するもの1つ)

1. 持ち家(戸建新築) 2. 持ち家(戸建中古) 3. 持ち家(分譲マンション)
4. 賃貸(戸建) 5. 賃貸(アパート・マンション) 6. 公営住宅
7. その他()

問 3-6 問 3-1 で「**2.** もうしばらく山形県で生活したい」「**3.** 山形県に定住したい」と答えた方は、今後どのような支援を希望しますか。(複数回答可)

1. 定住支援策に関する情報提供 2. 定住に関する相談窓口の充実
3. 定住した方との交流会の開催 4. 定住への資金援助
5. 新築・リフォームに関する助成や利子補給
6. 山形県内の住まいに関する情報提供

※必要な情報は何か： a. 土地 b. 建売住宅 c. 中古住宅
d. 分譲マンション e. 賃貸住宅 f. 公営住宅

7. 地域住民との交流に関する支援 8. 子育てに関する支援
9. 高齢者の生活に関する支援 10. 就職に関する支援
11. 就農に関する支援
12. その他()
13. 特別な支援は必要ない

4 心身の健康について

問 4-1 ご自身や同居のご家族・同居者の中で、現在、心身の不調がありますか。(複数回答可)

1. 食欲がない
2. 疲れやすく体がだるい
3. よく眠れない
4. 孤独を感じる
5. 飲酒や喫煙の量が増えた
6. 憂うつで気分が沈みがち
7. ささいな音やゆれに反応する
8. 以前楽しめたことが楽しめない
9. イライラする
10. 持病が悪化した
11. 頭痛や胃痛がする
12. その他 ()
13. 特にない

問 4-2 ご自身もしくは家族の心身の不調に対して、どのように対応していますか。(複数回答可)

1. 医療機関の受診を検討している
2. 医療機関を受診している
3. 家族や友人に相談している
4. 生活支援相談員等に相談している
5. 特別何もしていない
6. どうしたらいいか分からない

問 4-3 心身の健康について、相談する相手はいますか。(複数回答可)

1. 山形県外にいる
2. 山形県内いにいる
3. 相談したいがいない
4. 相談する必要がない



生活支援相談員等との相談をご希望の方は、
末尾に連絡先を記入してください

問 4-4 心身の健康に関して望むことは何ですか。(複数回答可)

1. 心身の健康に役立つ情報がほしい
2. 相談できるところを知りたい
3. 話を聞いてほしい
4. つらい気持ちを共有できる相談相手がほしい
5. 臨床心理士のカウンセリングを受けたい
6. 生活支援相談員等に訪問してほしい (末尾に連絡先を記入してください)
7. 地域の人とコミュニケーションをとりたい (見守りがほしい)
8. 医療機関の情報がほしい
9. その他 ()
10. 特にない

問 4-5 ご自身や同居のご家族・同居者の中に福祉サービスが必要な方はいますか。

1. いる →問 4-6~7 へ
2. いない

問 4-6 問 4-5 で「1. いる」と答えた方にお聞きします。その方は福祉サービスを利用していますか。

1. 利用している
2. 利用していない

問 4-7 問 4-5 で「1. いる」と答えた方にお聞きします。現在、困っていること、不安に思っていることは何ですか。(複数回答可)

1. 通院が困難
2. 買い物が困難
3. 介護、障がい児・者に関する相談先がわからない
4. 避難先で必要な福祉サービスが受けられない
(サービスの内容：)
5. 避難元の福祉サービスの情報がない
(サービスの内容：)
6. 地域にうまくとけこめない
7. 参加できる交流の場がない →問 4-8 へ
8. その他 ()
9. 特にない

問 4-8 問 4-7 で「7. 参加できる交流の場がない」を選択した方の理由は何ですか。(複数回答可)

1. 意欲はあるが、適当な活動がないため
2. 活動場所が遠いため
3. 活動場所までの移動が困難なため
4. 時間が合わないため
5. 参加しても馴染めそうにないため
6. どんな活動があるか分からないため
7. 体調が不安定なため
8. その他 ()
9. 参加する意向がない

5 教育や子育てについて（18歳以下のお子さんがある世帯の方のみ回答してください）

問 5-1 お子さんの教育や子育てに関して困っていること、不安に思っていることは何ですか。（複数回答可）

1. 保育園を希望しているが入園できない（空きがない）
2. 子どもの一時預かりをお願いする場所がない（わからない）
3. 子どもの心のケアが必要だが、どうしたらよいのかわからない
4. 子どもに対してイライラしたり、冷たく接したりしてしまう
5. 子どもに手をあげそうになる
6. 子どもとの会話が少なくなってきた
7. 子どもを友達と遊ばせたいが相手がいらない（少ない）
8. 子育て、教育にかかる経済的負担が大きい
9. 家族と離れてくらしていることが子どもの成長に影響を与えている
10. 子どもが学校や園で仲良くできるか不安だ
11. 子どもがいじめられていないか心配だ
12. 学校の勉強についていけるか心配だ
13. 子どもの進学や進路が心配だ
14. 子どもの発達に不安がある
15. その他（)
16. 特にない

問 5-2 教育や子育てに関して、相談する相手はいますか。（複数回答可）

1. 山形県外にいる
2. 山形県内にいる
3. 相談したいがいらない
4. 相談する必要がない



生活支援相談員等との相談をご希望の方は、
末尾に連絡先を記入してください

問 5-3 ご自身が困った時にお子さんを頼める方はいますか。（複数回答可）

1. 近くに親族がいる
2. 子どもを一時預かりしてくれる場所を利用している
3. 友人、知人がいる
4. 頼める人がいない
5. その他（)

問 5-4 お子さんの教育や子育てに関して望むことは何ですか。（複数回答可）

1. 子育てに役立つ情報がほしい
2. 子どもの遊び相手がほしい
3. 自分の話し相手や相談相手がほしい
4. 親同士の交流の機会がほしい
5. 子どもの発育や健康について相談にのってほしい
6. 保育園や幼稚園の情報がほしい
7. 保育園や幼稚園に入園できるよう相談にのってほしい
8. 子どもの定期健診などのサービスを受けやすくしてほしい
9. 子どもの進学や進路についてアドバイスや情報がほしい
10. その他（)
11. 特にない

6 高齢者の生活について (65歳以上の高齢者がいる世帯の方のみ回答してください)

問 6-1 ご自身や同居のご家族・同居者の中に、高齢者がいる方にお聞きします。今の生活で困っていること、不安なことは何ですか。(複数回答可)

1. 介護に関すること
2. 健康に関すること
3. 地域にうまくとけこめないこと
4. 高齢者同士の交流の場がないこと
5. 通院が困難なこと
6. 買い物が困難なこと
7. 高齢者に関する相談先がわからないこと (介護・医療・高齢者をもつ家族の悩みなど)
8. その他 ()
9. 特にない

問 6-2 高齢者ご自身の生活や高齢者の介護に関して、相談する相手はいますか。(複数回答可)

1. 山形県外にいる
2. 山形県内にいる
3. 相談したいがいない
4. 相談する必要がある



生活支援相談員等との相談をご希望の方は、
末尾に連絡先を記入してください

問 6-3 高齢者の生活に関して、望むことは何ですか。(複数回答可)

1. 高齢者の生活に役立つ情報がほしい
2. 高齢者同士の交流に関する情報がほしい
3. 相談できるところを知りたい
4. 話を聞いてほしい
5. 高齢者を持つ家族の悩みを聞いてほしい
6. 生きがいや健康づくり・介護予防に関する情報がほしい
7. 介護サービスに関する情報がほしい
8. 生活支援相談員等に訪問してほしい→ (末尾に連絡先を記入してください)
9. 地域の人とコミュニケーションをとりたい (見守りがほしい)
10. その他 ()
11. 特にない

問 6-4 今後、地域の活動または地域の交流の場に、参加してみたいと思いますか。(最もあてはまるもの1つを回答)

1. 参加したい →問 6-5 へ
2. いずれは参加したい →問 6-5 へ
3. すでに参加している →問 6-5 へ
4. どちらとも言えない →問 6-6 へ
5. 参加したくない →問 6-6 へ
6. その他 ()

問 6-5 問 6-4 で「1. 参加したい」「2. いずれは参加したい」「3. すでに参加している」と答えた方にお聞きします。それはどのような活動・交流の場ですか。(複数回答可)

1. 町内会・お祭りなどの地域の集まり
2. 清掃・見回りなどのボランティア活動
3. 体操教室・家庭菜園などの身体を動かすための活動
4. 公民館の各種教室などの文化的活動
5. その他 ()

問 6-6 問 6-4 で「4. どちらとも言えない」「5. 参加したくない」と答えた方の理由は何ですか。(複数回答可)

1. 意欲はあるが、適切な活動がないため
2. 活動場所が遠いため
3. 活動場所までの移動が困難なため
4. 時間が合わないため
5. 参加しても馴染めそうにないため
6. どんな活動があるか分からないため
7. 体調が不安定なため
8. その他 ()
9. 参加する意向がない

7 就業・就職について

問 7-1 主に世帯の生計を支えている方の就業形態はどのような状況ですか。

1. 正規雇用 →問 7-2 へ 2. 自営・起業 →問 7-2 へ
 3. 臨時雇用(フルタイム) →問 7-2 へ 4. 臨時雇用(パートタイム) →問 7-2 へ
 5. 無職 →問 7-4 へ 6. その他() →問 7-2 へ

問 7-2 問 7-1 で「1. 正規雇用」「2. 自営・起業」「3. 臨時雇用(フルタイム)」「4. 臨時雇用(パートタイム)」「6. その他」と答えた方は、転職を希望していますか。

1. 今の仕事でよい
 2. 転職を希望している →問 7-3 へ

問 7-3 問 7-2 で「2. 転職を希望している」と答えた方の理由は何ですか。(複数回答可)

1. 正規雇用の職に就きたい
 2. 資格を活かしたい
 3. 避難元の県に帰りたい
 4. 仕事の環境等が合わない
 5. その他 ()

問 7-4 問 7-1 で「5. 無職」と答えた方は、就職活動をしていますか。

1. 現在、就職活動をしている →問 7-5～7 へ
 2. 現在は就職活動をしていないが、今後する予定 →問 7-5～7 へ
 3. 就職活動をする予定はない

問 7-5 問 7-4 で「1. 現在、就職活動をしている」「2. 現在は就職活動をしていないが、今後する予定」と答えた方は、どのような就業形態を希望していますか。

1. 正規雇用 2. 自営・起業 3. 臨時雇用(フルタイム)
 4. 臨時雇用(パートタイム) 5. その他 ()

問 7-6 問 7-4 で「1. 現在、就職活動をしている」「2. 現在は就職活動をしていないが、今後する予定」と答えた方にお聞きします。次にあげる相談窓口を知っていますか。また、実際に相談したことがありますか。

あてはまる箇所に○をつけてください。(複数回答可)

相談窓口	知っている	相談したことがある	相談したことがない	相談する必要がある	その他
求職者総合支援センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
トータル・ジョブサポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
マザーズジョブサポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 7-7 問 7-4 で「**1.** 現在、就職活動をしている」「**2.** 現在は就職活動をしていないが、今後する予定」と答えた方にお聞きします。山形県内の就職で困っていることは何ですか。(複数回答可)

- | | |
|---|----------------------------|
| 1. 仕事に関する情報が少ない | 2. 希望する業種・職種の求人が少ない |
| 3. 子どもが保育所等に入れなかったため働けない | 4. 希望する時間帯の求人が少ない |
| 5. いつまで現在の生活が続くのか先が見えず、就職に踏み切れない | |
| 6. 資格や経験が活かせる仕事が見つからない | 7. 住居の近くの求人が少ない |
| 8. 賃金が低い | 9. 起業に関する情報が少ない |
| 10. しばらく働いていなかったため、就職に不安がある | |
| 11. その他 () | |
| 12. 特になし | |

8 相談支援機関と相談交流について

問 8-1 山形県内にはさまざまな相談支援機関があります。

次にあげる相談支援機関を知っていますか。また、実際に相談したことがありますか。
あてはまる箇所には○をつけてください。(複数回答可)

相談支援機関	知っている	→			
		相談したことがある	相談したことがない	相談する必要がある	その他
山形市避難者交流支援センター					
米沢市避難者支援センターおいで					
復興ボランティア支援センターやまがた					
ここふく@やまがた (NPO法人山形の公益活動を応援する会アミル)					
山形県社会福祉協議会					
市町村社会福祉協議会					
市 町 村					
地域包括支援センター					
民生委員児童委員					
NPO法人やまがた育児サークルランド					
NPO法人やまがた絆の架け橋ネットワーク					
その他 ()					

問 8-2 避難者支援に限らず、相談支援機関に相談したいことはありますか。(複数回答可)

1. 生活資金についての相談
2. 定住に関する相談
3. 就職支援に関する相談
4. 子育て・教育に関する相談
5. 健康に関する相談
6. 心のケアに関する相談
7. 高齢者（介護）に関する相談
8. 障がい児・者の福祉に関する相談
9. 地域住民との交流に関する相談
10. 避難者同士の交流に関する相談
11. その他 ()
12. 特にない

問 8-3 相談支援機関に相談する際に心配な点がありますか。(複数回答可)

1. 相談方法がわからない
2. 相談先が遠い
3. 相談先への移動が困難
4. 相談窓口の時間が合わない
5. 相談の手間が煩雑
6. 相談しても適切な助言が得られそうにない
7. その他 ()
8. 心配な点はない

9 県内で行っている避難者支援について

問 9-1 避難者に対する山形県内での支援（県、市町村、ボランティア団体等）についてどのように感じていますか。（最もあてはまるもの1つを回答）

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 評価する | 2. どちらかといえば評価する |
| 3. どちらかといえば評価しない | 4. 評価しない |
| 5. 支援を受けていないので評価できない | |

問 9-2 山形県内では、現在さまざまな避難者支援事業を行っております。

次にあげる主な避難者支援事業について、見たり、利用したり、参加したことがあるものに○をつけ、その評価について、右欄の該当する箇所に○をつけてください。

事業名	見た、利用した、参加した	評価する	評価しない	どちらともいえない
山形県避難者支援情報メールマガジン				
山形県ホームページ（避難されている皆様へ）				
復興ボランティア支援センターやまがたによる情報提供（うえるかむ、つながろうネットなど）				
山形県から送付された冊子・リーフレット（地域ごとの相談窓口のおしらせなど）				
生活支援相談員による訪問や相談				
避難者交流会（サロンやお茶会など）				
避難者（子育て世帯）交流会（ままカフェなど）				
創作活動を通じた交流会（料理教室、手芸教室など）				
健康相談会（まちの保健室など）				
臨床心理士のカウンセリング				
健康づくり教室（健康体操教室、ヨガ教室など）				
小中学生を対象にした学習支援（寺子屋学習など）				

問 9-3 今後、山形県内での避難者への支援として、期待するものをあげてください。(複数回答可)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 生活情報の提供の充実 | 2. 就職に関する情報の提供 |
| 3. 生活資金についての相談 | 4. 住宅に関すること |
| 5. 心のケア | 6. 健康増進に関すること |
| 7. 子育て・教育に関すること | 8. 高齢者の生活に関すること |
| 9. 戸別訪問による相談の充実 | 10. 避難者同士の交流に関すること |
| 11. 地域住民との交流に関すること | 12. 各種イベントへの招待 |
| 13. 放射線に関する情報の提供 | 14. 避難元との交通に関すること |
| 15. 冬の生活に関すること | |
| 16. その他 () | |
| 17. 特別な支援は必要ない | |

問 9-4 今後実施してほしい避難者支援事業をご記入ください。

■ 自由記入欄

・避難元に対して山形県から伝えてもらいたいこと

・政府に対して山形県から伝えてもらいたいこと

・その他、日頃から感じていることなど

※生活支援相談員等による訪問や連絡を希望される方は、お名前と連絡先をご記入ください。

お名前	
住所及び電話番号	住所： 電話：

アンケートにご協力いただきありがとうございました

発行元 山形県

山形県防災くらし安心部 防災危機管理課
復興・避難者支援室

〒990-8570 山形県山形市松波二丁目 8-1
電話 023-630-3100